

V. 各学部の修得すべき全学共通科目の単位数

京都大学において学士の学位を取得するためには、各学部により定められた全学共通科目と学部科目の単位数を修得する必要があります。本章では、卒業に必要な全学共通科目の単位数等を記載しています。学部科目の単位数及び詳細については、各学部の便覧を参照してください。

(注意)

- ◇ 本章記載内容以外にも、全学共通科目の履修について各学部で指示する事項がある場合がありますので、各学部の便覧を必ず参照してください。
- ◇ 本章記載の単位数は、卒業までに修得すべき単位数です。何回生時に何単位修得するかは各自の判断によりますが、学部によっては、全学共通科目の単位修得が進級等の要件になっている場合がありますので注意してください。
- ◇ 平成 28 年度より、全学共通科目の群が再編されました。なお、平成 27 年度以前入学者については、従来どおりの科目群（現代社会適応科目群・拡大科目群等）により修得すべき単位数が定められています。
- ◇ 平成 29 年度から KUINEP 科目は廃止されました。

1. 平成28年度以降入学者用

総合人間学部

総合人間学部では、多様な学問分野の教員が数多くの全学共通科目を担当しており、教養教育・基礎教育と専門教育を体系的に一体化したカリキュラムを提供しています。このため、外国語科目群を除いて、修得すべき全学共通科目の単位数を定めていません。多くの全学共通科目が、総合人間学部の主専攻科目または副専攻科目として指定されています。詳細は、「総合人間学部便覧」を参照してください。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	<p>※詳細は「総合人間学部便覧」を参照すること。</p> <p>(令和6年度以降入学者)</p> <p>「主専攻科目」として、所属する講座の主専攻科目表に指定された総合人間学部科目・全学共通科目から46単位以上修得すること。</p> <p>「副専攻科目」として、所属する講座以外の1講座の主専攻科目表に指定された総合人間学部科目・全学共通科目から20単位以上修得すること。</p> <p>「自由科目」として、すべての総合人間学部科目・全学共通科目・他学部科目から32単位以上修得すること(※一部認められない科目もある。詳細は「総合人間学部便覧」を参照すること。)</p>	
自然科学科目群		
情報学科科目群		
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		
少人数教育科目群	<p>(平成28年度～令和5年度入学者)</p> <p>「主専攻科目」として、所属する学系の主専攻科目表に指定された総合人間学部科目・全学共通科目から48単位以上修得すること。</p> <p>「副専攻科目」として、所属する学系以外の副専攻科目表に指定された総合人間学部科目・全学共通科目から20単位以上修得すること。</p> <p>「自由科目」として、すべての総合人間学部科目・全学共通科目・他学部科目から32単位以上修得すること(※一部認められない科目もある。詳細は「総合人間学部便覧」を参照すること。)</p>	
外国語科目群	24単位以上	<p>英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから、2ヶ国語または3ヶ国語を履修すること。ただし、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。また、外国人留学生の母語の科目は、外国語科目に含まれない。</p> <p>2ヶ国語を履修する場合、両外国語それぞれから12単位以上を修得すること。</p> <p>3ヶ国語を履修する場合、1外国語から12単位以上、その他の2外国語から計12単位以上を修得すること。</p> <p>2ヶ国語、3ヶ国語いずれを履修する場合でも、英語から12単位以上を修得する場合は、「英語リーディング」計4単位、「英語ライティング-リスニング A・B」各2単位計4単位、計8単位を含むこと。残りの4単位は「英語リーディング」またはE科目(科目群、E科目のカテゴリーは問わない)から修得すること。</p> <p>日本語を選択する場合、平成28年度入学者は日本語中級、日本語上級、「経済・経営日本語(上級) I・II」(令和2年度より廃止)から8単位まで(上級科目を少なくとも4単位含めることが望ましい)、平成29年度以降入学者は日本語上級、「経済・経営日本語(上級) I・II」(令和2年度より廃止)から8単位まで修得を認める。</p>

E科目	外国語科目群で英語を選択した場合、E科目で修得した単位を英語の単位に読み替えることができる。その場合、それらの単位は元の開講科目群の修得単位としては認められない。
-----	---

2. 履修登録コマ数の上限について

(令和2年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、「総合人間学部便覧」を参照してください。

(平成31年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録コマ数の上限は、1学期につき20コマです。ただし、集中講義は履修登録コマ数の上限には含まれません。

3. 指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『H(総合人間学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 外国語科目群について

その他の2外国語の1つとして英語を履修する場合、内訳や科目の指定はありません。

これは例えば「ドイツ語12単位、フランス語6単位、英語6単位」のように、3ヶ国語を履修する場合で、英語以外の1外国語で12単位以上修得し、その他の2外国語の1つとして、英語を修得する場合に該当します。

(3) 情報学科目群における履修推奨科目について

総合人間学部では、当学部生に対し、情報セキュリティの重要性を鑑みて、下表の〔講義科目〕および〔演習科目〕を履修することを推奨します。

講義科目	情報基礎 [全学向]・情報ネットワーク	同じ名称の科目が複数開講されます。人間・環境学研究所の教員が担当する授業の履修を推奨します。
演習科目	情報基礎演習 [全学向]	同じ名称の科目が複数開講されます。人間・環境学研究所の教員が担当する授業の履修を推奨します。

(4) 京都大学国際教育プログラム(KUINEP)科目(平成29年度より廃止)は、1科目2単位のみ卒業に必要な単位として認定します。(平成28年度入学者のみ該当)

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	※詳細は「総合人間学部便覧」を参照すること。
自然科学科目群	
情報学科目群	
健康・スポーツ科目群	
キャリア形成科目群	
統合科学科目群	
少人数教育科目群	<p>(令和2年度～令和5年度入学者)</p> <p>「主専攻科目」として、所属する学系の主専攻科目表に指定された総合人間学部科目・全学共通科目から48単位以上修得すること。</p> <p>「副専攻科目」として、所属する学系以外の副専攻科目表に指定された総合人間学部科目・全学共通科目から20単位以上修得すること。</p> <p>「自由科目」として、すべての総合人間学部科目・全学共通科目・他学部科目から32単位以上修得すること(※一部認められない科目もある。詳細は「総合人間学部便覧」を参照すること。)</p>

外国語科目群	24 単位以上	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから、2ヶ国語または3ヶ国語を履修すること。 ただし、外国人留学生の母語の科目は、外国語科目に含まれない。 2ヶ国語を履修する場合、両外国語それぞれから12単位以上を修得すること。 3ヶ国語を履修する場合、1外国語から12単位以上、その他の2外国語から計12単位以上を修得すること。 2ヶ国語、3ヶ国語いずれを履修する場合でも、英語から12単位以上を修得する場合は、「英語リーディング」計4単位、「英語ライティング-リスニング A・B」各2単位計4単位、計8単位を含むこと。残りの4単位は「英語リーディング」またはE科目（科目群、E科目のカテゴリーは問わない）から修得すること。
--------	---------	--

E 科目	外国語科目群で英語を選択した場合、E 科目で修得した単位を英語の単位に読み替えることができる。その場合、それらの単位は元の開講科目群の修得単位としては認められない。
------	--

2. 履修登録コマ数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、「総合人間学部便覧」を参照してください。

3. 指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『H（総合人間学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 外国語科目群について

その他の2外国語の1つとして英語を履修する場合、内訳や科目の指定はありません。

これは例えば「ドイツ語 12 単位、フランス語 6 単位、英語 6 単位」のように、3ヶ国語を履修する場合で、英語以外の1外国語で12単位以上修得し、その他の2外国語の1つとして、英語を修得する場合に該当します。

(3) 情報学科目群における履修推奨科目について

総合人間学部では、当学部生に対し、情報セキュリティの重要性を鑑みて、下表の〔講義科目〕および〔演習科目〕を履修することを推奨します。

講義科目	情報基礎 [全学向]・情報ネットワーク	同じ名称の科目が複数開講されます。人間・環境学 研究科の教員が担当する授業の履修を推奨します。
演習科目	情報基礎演習 [全学向]	同じ名称の科目が複数開講されます。人間・環境学 研究科の教員が担当する授業の履修を推奨します。

文学部

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

外国語科目群において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及びE科目の単位数が異なります。詳細は、「文学部学生便覧」の「学士の学位取得に必要な単位」を参照してください。

人文・社会科学科目群	英語を選択する場合： 12単位以上 英語を選択しない場合： 8単位以上	(令和2年度以降入学者) 英語を選択する場合： 32単位以上 英語を選択しない場合： 24単位以上	(令和2年度以降入学者) 人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学 科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科 目群、統合科学科目群、少人数教育科目群からE1・ E3に指定されている科目を除き、計24単位以上修 得すること。ただし、人文・社会科学科目群から E1に指定されている科目を除き計8単位以上、自 然科学科目群から計6単位以上修得すること。 外国語科目群で英語を選択する場合は、上記の要 件に加えて「外国文献研究(文・英)A・B-E1」各 2単位計4単位、その他のE1・E3に指定されてい る科目から計4単位以上修得し、計32単位以上修 得すること。	
		(平成28～31年度入学者) 英語を選択する場合： 44単位以上 英語を選択しない場合： 36単位以上	(平成28～31年度入学者) 人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学 科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科 目群、統合科学科目群、少人数教育科目群からE1・ E3に指定されている科目を除き、計36単位以上修 得すること。ただし、人文・社会科学科目群から E1に指定されている科目を除き計8単位以上、自 然科学科目群から計6単位以上修得すること。 外国語科目群で英語を選択する場合は、上記の要 件に加えて「外国文献研究(文・英)A・B-E1」各 2単位計4単位、その他のE1・E3に指定されてい る科目から計4単位以上修得し、計44単位以上修 得すること。	
		自然科学科目群	6単位以上	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、 イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語の うちから英語、ドイツ語、フランス語いずれか一 つを含む2か国語を履修すること。 英語を選択する場合、「英語リーディング」計4単 位、「英語ライティングーリスニングA・B」各2 単位計4単位、計8単位修得すること。 英語以外の外国語を選択する場合、初級から8単 位以上、中・上級から8単位以上、1か国語につき 計16単位以上修得すること。
		情報学科目群		
		健康・スポーツ科目群		
		キャリア形成科目群		
		統合科学科目群		
少人数教育科目群				
外国語科目群	英語を選択する場合： 24単位以上 英語を選択しない場合： 32単位以上			
合計	(令和2年度以降入学者) 56単位以上 (平成28～31年度入学者) 68単位以上			

E 科目	外国語科目群で英語を選択する場合、上記の単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献研究（文・英）A・B-E1」各 2 単位計 4 単位、それ以外の E1・E3 に指定されている科目から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	---------------------------------------	---

2. 履修登録単位数の上限について

（令和 2 年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、文学部学生便覧を参照してください。

（平成 31 年度以前入学者）

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『L（文学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 人文・社会科学科目群について

① 外国語科目群で英語を履修する場合、「外国文献研究（文・英）A・B-E1」（いずれも 2 年生以上対象科目）は各 1 科目計 4 単位が卒業に必要な単位として認定され、原則として自身の所属する系（基礎現代文化学系は志望する専修）を対象とするクラスを履修しなければなりません。修得後に他系の専修に分属した場合、あらたに履修しなおす必要はありません。

② 「日本史Ⅰ・Ⅱ」、「中国歴史風土論」（令和 6 年度不開講）、「中国歴史地理論」（令和 6 年度不開講）、「西洋史Ⅰ・Ⅱ」、「人文地理学各論Ⅰ～Ⅲ」、「地域地理学各論Ⅰ～Ⅲ」は全学共通科目として履修登録しますが、単位を修得した場合、文学部の学部科目（自由選択）として認定されます。

ただし、全学共通科目の必要単位が不足している場合、所定の手続きを経て全学共通科目人文・社会科学科目群に変更することができます。手続き期間は 4 月及び 10 月のみです。締切日等詳細は文学部教務掛関係掲示板に掲載します。

(3) 外国語科目群について

① 外国語科目において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及び E 科目の単位数が異なり、入学時の外国語科目履修選択手続に従い事務処理が行われます。入学時に英語を選択していたが英語の選択をやめる場合、もしくは英語を選択していなかったが英語選択に変更する場合は、これに応じた事務処理を行う必要がありますので、全学共通科目学生窓口で変更手続きを行ってください。

② 英語以外の外国語を履修する場合、初級から 8 単位以上、中・上級から 8 単位以上、1 か国語につき計 16 単位以上修得しなければなりません。「フランス語Ⅰ（8H コース）」は、16 単位のうち 8 単位のみ、「ドイツ語Ⅰ（6H コース）」、「ドイツ語Ⅱ（6H コース）」、「フランス語Ⅱ（6H コース）」は、12 単位のうち 8 単位のみ卒業に必要な単位として認めます。

なお、スペイン語Ⅰ（会話）は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

(4) E 科目について

外国語科目群で英語を選択しない場合、E1・E3 に指定されている科目を履修しても卒業に必要な単位としては認定しません。

【令和5年度以降入学者用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

外国語科目群において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及びE科目の単位数が異なります。

人文・社会科学科目群	英語を選択する場合： 32 単位以上	英語を選択しない場合： 24 単位以上	<p>①外国語科目群で英語を選択する場合は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計 32 単位以上修得すること。なお、「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」各 2 単位を含めて E 科目計 8 単位以上を含むこと。</p> <p>②人文・社会科学科目群から、「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」各 2 単位を含めて、計 20 単位以上修得すること。また、人文・社会科学科目群の 7 つの分野（「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・文学・言語」、「教育・心理・社会」、「地域・文化」、「法・政治・経済」、「外国文献研究」）から 4 つ以上の異なる分野の科目の単位を修得すること。</p> <p>③自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。その際、自然科学科目群の 7 つの分野（「数学」、「データ科学」、「物理学」、「化学」、「生物学」、「地球科学」、「図学」）から 2 つ以上の異なる分野の科目の単位を修得すること。</p> <p>④情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計 6 単位以上修得すること。</p>	
	英語を選択する場合： 20 単位以上			
	英語を選択しない場合： 12 単位以上			
	自然科学科目群			6 単位以上
	情報学科目群			6 単位以上
	健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群				
統合科学科目群				
少人数教育科目群				
外国語科目群	英語を選択する場合： 24 単位以上	英語を選択しない場合： 24 単位以上	<p>英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから英語、ドイツ語、フランス語いずれか一つを含む 2 か国語を履修すること。</p> <p>英語を選択する場合、「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位、計 8 単位修得すること。</p>	

	英語を選択しない場合：32 単位以上	英語以外の外国語（日本語を除く）を選択する場合、初級から 8 単位以上、中・上級から 8 単位以上、1 か国語につき計 16 単位以上修得すること。 日本語は外国人留学生のみ履修することができる。 外国人留学生は日本語の単位を、英語を除く 1 か国語の初・中・上級に 16 単位まで読み替えることができる。 日本語を履修する場合、日本語中級、日本語上級から 16 単位まで修得を認める。
合計	56 単位以上	

E 科目	外国語科目群で英語を選択する場合、上記単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」各 2 単位計 4 単位、それ以外の E 科目（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	--------------------------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、学部の便覧を参照してください。

3. 指示事項

- (1) 入学試験を理系で受験した者には、次の科目の履修を推奨します。

「微分積分学（講義・演義）A・B」、「線形代数学（講義・演義）A・B」、「情報基礎 [全学向]」、「情報ネットワーク」、「情報基礎演習 [全学向]」、「数理・データ科学のための数学入門 I・II」、「データ分析基礎」、「データ分析演習 I・II」

- (2) 人文・社会科学科目群について

人文・社会科学科目群の 7 つの分野（「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・文学・言語」、「教育・心理・社会」、「地域・文化」、「法・政治・経済」、「外国文献研究」）から 4 つ以上の異なる分野の科目の単位を修得する必要があります。また、外国語科目群で英語を選択する場合は、「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」（2 回生以上対象科目）各 2 単位計 4 単位を修得しなければなりません。

- (3) 人文・社会科学科目群科目「教育学 I」および「心理学 I」の履修について

- ① 「教育学 I」および「心理学 I」のうち、教育学部の教員が担当するクラスは、教育学部専門科目として履修してください。教育学部専門科目として履修し単位を修得した場合、卒業要件の単位としては専門科目の選択科目に数えます。
- ② 「教育学 I」および「心理学 I」のうち、教育学部の教員が担当するクラス以外は、全学共通科目として履修してください。この場合には、修得した単位は全学共通科目における人文・社会科学科目群の単位として扱います。
- ③ 「教育学 I」または「心理学 I」において、全学共通科目の科目と教育学部専門科目の同じ名称の科目（教育学部の教員が担当するクラス）の単位を両方修得した場合、修得した順番に関わらず、教育学部専門科目が正規単位となり、全学共通科目は増加単位となります（卒業に必要な単位として認定されません）。

- (4) 自然科学科目群について

自然科学科目群の 7 つの分野（「数学」、「データ科学」、「物理学」、「化学」、「生物学」、「地球科学」、「図学」）から 2 つ以上の異なる分野の科目の単位を修得する必要があります。また、「統計入門（文系向き）」を履修することを強く推奨し、「統計と人工知能」を履修することを推奨します。

- (5) 外国語科目群について

- ① 外国語科目において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及び E 科目の単位数が異なり、入学時の外国語科目履修選択手続に従い事務処理が行われます。入学時に英語を選択していた

が英語の選択をやめる場合、もしくは英語を選択していなかったが英語選択に変更する場合は、これに応じた事務処理を行う必要がありますので、全学共通科目学生窓口で変更手続きを行ってください。

② スペイン語 I（会話）は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

【平成 28 年度～令和 4 年度入学者用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

外国語科目群において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及び E 科目の単位数が異なります。

人文・社会科学科目群	英語を選択する場合：18 単位以上 英語を選択しない場合：14 単位以上	英語を選択する場合：48 単位以上	外国語科目群で英語を選択する場合は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計 48 単位以上修得すること。なお、「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」各 2 単位を含めて E 科目計 8 単位以上を含むこと。ただし、「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」各 2 単位を含めて人文・社会科学科目群から計 18 単位以上、自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。
自然科学科目群	6 単位以上		
情報学科目群		英語を選択しない場合：40 単位以上	外国語科目群で英語を選択しない場合は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計 40 単位以上修得すること。なお、人文・社会科学科目群から計 14 単位以上、自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			
外国語科目群		英語を選択する場合：24 単位以上 英語を選択しない場合：32 単位以上	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから英語、ドイツ語、フランス語いずれか一つを含む 2 か国語を履修すること。 英語を選択する場合、「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位、計 8 単位修得すること。 英語以外の外国語（日本語を除く）を選択する場合、初級から 8 単位以上、中・上級から 8 単位以上、1 か国語につき計 16 単位以上修得すること。 日本語は外国人留学生のみ履修することができる。 【令和 3 年度以降入学の外国人留学生】 日本語の単位を、英語を除く 1 か国語の初・中・上級に 16 単位まで読み替えることができる。 日本語を履修する場合、日本語中級、日本語上級から 16 単位まで修得を認める。 【平成 28 年度～令和 2 年度入学の外国人留学生】 日本語の単位を、英語を除く 1 か国語 16 単位のうちの中・上級の 8 単位までに読み替えることができる。 日本語を履修する場合、日本語上級、「経済・経営日本語（上級）I・II」（令和 2 年度より廃止）から 8 単位まで修得を認める。
合計		72 単位以上	

E 科目	外国語科目群で英語を選択する場合、上記単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献研究（教育・英）I・II-E1」各 2 単位計 4 単位、それ以外の E 科目（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	--------------------------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

(令和2年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、学部の便覧を参照してください。

(平成31年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき34単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

(1) 入学試験を理系で受験した者には、次の科目の履修を推奨します。

「微積分学（講義・演義）A・B」、「線形代数学（講義・演義）A・B」、「情報基礎 [全学向]」、「情報ネットワーク」、「情報基礎演習 [全学向]」、「数理・データ科学のための数学入門Ⅰ・Ⅱ」、「データ分析基礎」、「データ分析演習Ⅰ・Ⅱ」

(2) 人文・社会科学科目群について

外国語科目群で英語を選択する場合は、「外国文献研究（教育・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」（2回生以上対象科目）各2単位計4単位を修得しなければなりません。

(3) 人文・社会科学科目群科目「教育学Ⅰ」および「心理学Ⅰ」の履修について

- ① 「教育学Ⅰ」および「心理学Ⅰ」のうち、教育学部の教員が担当するクラスは、令和5年度以降全学共通科目として履修することができません。
- ② 「教育学Ⅰ」および「心理学Ⅰ」のうち、教育学部の教員が担当するクラス以外は、全学共通科目として履修することができます。この場合には、修得した単位は全学共通科目における人文・社会科学科目群の単位として扱います。
- ③ 令和4年度以前に「教育学Ⅰ」または「心理学Ⅰ」を全学共通科目として履修し単位を修得している場合（教育学部の教員が担当するクラスも含む）、令和5年度以降に教育学部専門科目の同じ名称の科目（教育学部の教員が担当するクラス）を履修して単位を修得すると、令和4年度以前に修得した全学共通科目としての単位は増加単位となります（卒業に必要な単位として認定されなくなります）。
- ④ 令和5年度以降、「教育学Ⅰ」または「心理学Ⅰ」において全学共通科目の科目と教育学部専門科目の同じ名称の科目（教育学部の教員が担当するクラス）の単位を両方修得した場合、修得した順番に関わらず、教育学部専門科目が正規単位となり、全学共通科目は増加単位となります（卒業に必要な単位として認定されません）。

(4) 自然科学科目群について

「統計入門」（文系向き）及び「統計と人工知能」を履修することを推奨します。

(5) 外国語科目群について

- ① 外国語科目において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及びE科目の単位数が異なり、入学時の外国語科目履修選択手続に従い事務処理が行われます。入学時に英語を選択していたが英語の選択をやめる場合、もしくは英語を選択していなかったが英語選択に変更する場合は、これに応じた事務処理を行う必要がありますので、全学共通科目学生窓口で変更手続きを行ってください。
- ② スペイン語Ⅰ（会話）は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

【Kyoto iUP 生（令和5年度以降入学者）用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数（科目履修にあたっては担当教員と相談することが望ましい。）

人文・社会科学科目群	英語を選択する場合： 20単位以上	英語を選択する場合： 32単位以上	①外国語科目群で英語を選択する場合は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計32単位以上修得すること。なお、「外国文献研究（教育・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」各2単位を含めてE科目計8単位以上を含むこと。 ②人文・社会科学科目群から、「外国文献研究（教育・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」各2単位を含めて、計20単位以上修得すること。
------------	----------------------	----------------------	---

	英語を選択しない場合：12 単位以上	英語を選択しない場合：24 単位以上	<p>③自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。</p> <p>④情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計 6 単位以上修得すること。</p> <p>①外国語科目群で英語を選択しない場合は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計 24 単位以上修得すること。</p> <p>②人文・社会科学科目群から計 12 単位以上修得すること。</p> <p>③自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。</p> <p>④情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計 6 単位以上修得すること。</p>
自然科学科目群	6 単位以上	共通事項：外国語科目群の日本語中級、日本語上級のうち、22 単位まで人文・社会科学科目群の単位として認める。また、人文・社会科学科目群の Kyoto iUP 生専用科目（令和 6 年度不開講）は 2 単位まで認める。	
情報学科目群	6 単位以上		
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			
外国語科目群	英語を選択する場合：24 単位以上 英語を選択しない場合：32 単位以上	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから英語、ドイツ語、フランス語いずれか一つを含む 2 か国語を履修すること。	英語を選択する場合、「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位、計 8 単位修得すること。
		英語以外の外国語（日本語を除く）を選択する場合、初級から 8 単位以上、中・上級から 8 単位以上、1 か国語につき計 16 単位以上修得すること。	日本語の単位を、英語を除く 1 か国語の初・中・上級に 16 単位まで読み替えることができる。
			日本語を履修する場合、日本語中級、日本語上級の修得を認める。
合計		56 単位以上	

E 科目	外国語科目群で英語を選択する場合、上記単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献研究（教育・英） I・II-E1」各 2 単位計 4 単位、それ以外の E 科目（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	--------------------------------------	---

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、学部の便覧を参照してください。

3. 指示事項

(1) 人文・社会科学科目群について

- ① 外国語科目群で英語を選択する場合は、「外国文献研究（教育・英） I・II-E1」（2 回生以上対象科目）各 2 単位計 4 単位を修得しなければなりません。
- ② 外国語科目群の「日本語」中・上級のうち、22 単位まで人文・社会科学科目群の単位として認めます。
- ③ 人文・社会科学科目群の Kyoto iUP 生専用科目（令和 6 年度不開講）は 2 単位まで修得すべき全学共通科目の単位

として認めます。

(2) 人文・社会科学科目群科目「教育学Ⅰ」および「心理学Ⅰ」の履修について

- ① 「教育学Ⅰ」および「心理学Ⅰ」のうち、教育学部の教員が担当するクラスは、教育学部専門科目として履修してください。教育学部専門科目として履修し単位を修得した場合、卒業要件の単位としては専門科目の選択科目に数えます。
- ② 「教育学Ⅰ」および「心理学Ⅰ」のうち、教育学部の教員が担当するクラス以外は、全学共通科目として履修してください。この場合には、修得した単位は全学共通科目における人文・社会科学科目群の単位として扱います。
- ③ 「教育学Ⅰ」または「心理学Ⅰ」において、全学共通科目の科目と教育学部専門科目の同じ名称の科目（教育学部の教員が担当するクラス）の単位を両方修得した場合、修得した順番に関わらず、教育学部専門科目が正規単位となり、全学共通科目は増加単位となります（卒業に必要な単位として認定されません）。

(3) 自然科学科目群について

- ① 「統計入門」（文系向き）または「Introductory Statistics-E2」を履修することを強く推奨し、「統計と人工知能」または「Second Course in Statistics-E2」を履修することを推奨します。

(4) 外国語科目群について

- ① 外国語科目において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及び E 科目の単位数が異なり、入学時の外国語科目履修選択手続に従い事務処理が行われます。入学時に英語を選択していたが英語の選択をやめる場合、もしくは英語を選択していなかったが英語選択に変更する場合は、これに応じた事務処理を行う必要がありますので、全学共通科目学生窓口で変更手続きを行ってください。
- ② スペイン語Ⅰ（会話）は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

【Kyoto iUP 生（令和 3 年度～令和 4 年度入学者）用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数（科目履修にあたっては担当教員と相談することが望ましい。）

人文・社会科学科目群	英語を選択する場合：48 単位以上 英語を選択する場合：18 単位以上 英語を選択しない場合：14 単位以上	英語を選択する場合：48 単位以上 英語を選択しない場合：40 単位以上	外国語科目群で英語を選択する場合は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計 48 単位以上修得すること。なお、「外国文献研究（教育・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」各 2 単位を含めて E 科目計 8 単位以上を含むこと。ただし、「外国文献研究（教育・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」各 2 単位を含めて人文・社会科学科目群から計 18 単位以上、自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。
自然科学科目群	6 単位以上		外国語科目群で英語を選択しない場合は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群から計 40 単位以上修得すること。なお、人文・社会科学科目群から計 14 単位以上、自然科学科目群から計 6 単位以上修得すること。
情報学科目群			
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			
外国語科目群		共通事項：外国語科目群の日本語中級、日本語上級のうち、22 単位まで人文・社会科学科目群の単位として認める。また、人文・社会科学科目群の Kyoto iUP 生専用科目（令和 6 年度不開講）は 2 単位まで認める。	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから英語、ドイツ語、フランス語いずれか一つを含む 2 か国語を履修すること。

	英語を選択する場合：24 単位以上	英語を選択する場合、「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位、計 8 単位修得すること。
	英語を選択しない場合：32 単位以上	英語以外の外国語（日本語を除く）を選択する場合、初級から 8 単位以上、中・上級から 8 単位以上、1 か国語につき計 16 単位以上修得すること。 日本語の単位を、英語を除く 1 か国語の初・中・上級に 16 単位まで読み替えることができる。 日本語を履修する場合、日本語中級、日本語上級の修得を認める。
合計	72 単位以上	

E 科目	外国語科目群で英語を選択する場合、上記単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献研究（教育・英） I・II-E1」各 2 単位計 4 単位、それ以外の E 科目（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	--------------------------------------	---

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、学部の便覧を参照してください。

3. 指示事項

(1) 人文・社会科学科目群について

- ① 外国語科目群で英語を選択する場合は、「外国文献研究（教育・英） I・II-E1」（2 回生以上対象科目）各 2 単位計 4 単位を修得しなければなりません。
- ② 外国語科目群の「日本語」中・上級のうち、22 単位まで人文・社会科学科目群の単位として認めます。
- ③ 人文・社会科学科目群の Kyoto iUP 生専用科目（令和 6 年度不開講）は 2 単位まで修得すべき全学共通科目の単位として認めます。

(2) 人文・社会科学科目群科目「教育学 I」および「心理学 I」の履修について

- ① 「教育学 I」および「心理学 I」のうち、教育学部の教員が担当するクラスは、令和 5 年度以降全学共通科目として履修することができません。
- ② 「教育学 I」および「心理学 I」のうち、教育学部の教員が担当するクラス以外は、全学共通科目として履修することができます。この場合には、修得した単位は全学共通科目における人文・社会科学科目群の単位として扱います。
- ③ 令和 4 年度以前に「教育学 I」または「心理学 I」を全学共通科目として履修し単位を修得している場合（教育学部の教員が担当するクラスも含む）、令和 5 年度以降に教育学部専門科目の同じ名称の科目（教育学部の教員が担当するクラス）を履修して単位を修得すると、令和 4 年度以前に修得した全学共通科目としての単位は増加単位となります（卒業に必要な単位として認定されなくなります）。
- ④ 令和 5 年度以降、「教育学 I」または「心理学 I」において全学共通科目の科目と教育学部専門科目の同じ名称の科目（教育学部の教員が担当するクラス）の単位を両方修得した場合、修得した順番に関わらず、教育学部専門科目が正規単位となり、全学共通科目は増加単位となります（卒業に必要な単位として認定されません）。

(3) 自然科学科目群について

「統計入門（文系向き）または「Introductory Statistics-E2」及び「統計と人工知能」または「Second Course in Statistics-E2」を履修することを推奨します。

(4) 外国語科目群について

- ① 外国語科目において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及び E 科目の単位数が異なり、入学時の外国語科目履修選択手続に従い事務処理が行われます。入学時に英語を選択していたが英語の選択をやめる場合、もしくは英語を選択していなかったが英語選択に変更する場合は、これに応じた事務処

- 理を行う必要がありますので、全学共通科目学生窓口で変更手続きを行ってください。
- ② スペイン語 I（会話）は、外国語科目群の卒業に必要な単位として認定しません。

法 学 部

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群※	(平成 31 年度以降入学者) 16 単位以上	「外国文献講読 (法・英) I・II-E1」各 2 単位計 4 単位を修得すること。ただし、「法・政治・経済」分野の科目は 8 単位まで卒業に必要な単位として認める。
	(平成 28～30 年度入学者) 24 単位以上	「外国文献講読 (法・英) I・II-E1」各 2 単位計 4 単位を修得すること。
自然科学科目群	6 単位以上	
統合科学科目群		
外国語科目群	24 単位以上	英語 8 単位 (「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること) のほか、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから 1 か国語 16 単位以上、計 24 単位以上修得すること。
情報学科目群	6 単位まで	
健康・スポーツ科目群	6 単位まで	「スポーツ実習」分野の科目は 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群	4 単位まで	E 科目のみ卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	(平成 31 年度以降入学者) 56 単位以上	
	(平成 28～30 年度入学者) 64 単位以上	

※平成 31 年度までの入学者については、人文・社会科学科目群及び法学部基礎演習【学部教養科目】。

なお、法学部基礎演習は令和 2 年度より廃止された (令和 3 年度から新設の専門科目「法学政治学基礎演習」とは、別科目であるため混同しないこと)。

E 科目	上記単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献講読 (法・英) I・II-E1」各 2 単位計 4 単位、それ以外の E 科目 (科目群、E 科目のカテゴリーは問わない) から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	------------------------	---

2. 履修登録単位数の上限について

(令和 2 年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、『法学部便覧』を参照してください。

(平成 31 年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。

※なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『J (法学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 人文・社会科学科目群について

① 「外国文献講読 (法・英) I・II-E1」(2 回生以上対象科目) 各 2 単位計 4 単位を修得しなければなりません。

② 平成31年度まで開講されていた法学部基礎演習は、卒業に必要な単位数を計算する上では、全学共通科目の人文・社会科学科目群の科目と同じに扱われます。

なお、法学部基礎演習は、令和2年度より廃止されました（令和3年度から新設の専門科目「法学政治学基礎演習」は、別科目です）。

(3) 外国語科目群について

「フランス語Ⅰ（8Hコース）」は、16単位のうち12単位のみ卒業に必要な単位として認めます。

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田カレッジオフィスが Kyoto iUP 留学生ごとに指定する外国語科目群日本語科目は、卒業に必要な単位として認める。 ・人文・社会科学科目群の「外国文献講読（法・英）Ⅰ・Ⅱ-E1」各2単位計4単位を修得すること。 ・外国語科目群の「英語リーディング」計4単位を修得すること。
自然科学科目群	
統合科学科目群	
外国語科目群	
情報科学科目群	
健康・スポーツ科目群	
キャリア形成科目群	
少人数教育科目群	
合計	56 単位以上

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、法学部で確認してください。

3. 指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『J（法学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 履修や卒業要件において上記以外に学部の指示がある場合は、その指示に従ってください。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

【令和4年度以降入学者】

卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数は、2回生以降に初修外国語（中・上級）を継続する場合と、データ科学分野選択制度（初修外国語（中・上級）に代えて「データ科学分野」科目を選択できる制度）を利用する場合とで、修得すべき外国語科目群、自然科学科目群の単位数が異なります。データ科学分野選択制度に関する手続きおよび注意点については「学生便覧（経済学部）」を参照してください。

初修外国語の継続を選択する場合

人文・社会科学科目群	「外国文献研究（経・英）A・B-E1」計4単位を含む14単位以上	32単位以上 (各科目群が個別に求める最少単位数の合計28単位より4単位多い)	32単位の中に、「外国文献研究（経・英）A・B-E1」以外の任意の科目群のE科目4単位以上を含むこと。 (このE科目は科目群の区別なく自由に選べるので、全体では28単位より4単位多い。E科目については下欄の表を確認すること。)ただし、「外国文献研究（経・英）A・B-E1」は計4単位を超えて修得することはできない。
自然科学科目群	8単位以上		
情報学科目群	6単位以上		
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			
外国語科目群	24単位以上	「英語リーディング」計4単位、「英語ライティング・リスニングA・B」各2単位計4単位、合わせて8単位修得すること。 英語以外の外国語（日本語を除く）は、初級から8単位以上、中・上級から8単位以上、1か国語につき計16単位以上修得すること。 日本語（外国人留学生のみ選択可能）は、日本語上級から計16単位修得すること。	
合計	56単位以上		

E科目	上記の単位数のうち8単位以上含むこと	「外国文献研究（経・英）A・B-E1」から4単位、それ以外のE科目（科目群、E科目のカテゴリーは問わない）から4単位以上、計8単位以上を含めなければならない。
-----	--------------------	---

データ科学分野選択制度を利用する場合

人文・社会科学科目群	「外国文献研究（経・英）A・B-E1」計4単位を含む14単位以上	40単位以上 (各科目群が個別に求める最少単位数の合計36単位より4単位多い)	40単位の中に、「外国文献研究（経・英）A・B-E1」以外の任意の科目群のE科目4単位以上を含むこと。 (このE科目は科目群の区別なく自由に選べるので、全体では36単位より4単位多い。E科目については下欄の表を確認すること。)ただし、「外国文献研究（経・英）A・B-E1」は計4単位を超えて修得することはできない。
自然科学科目群	データ科学分野（「統計入門」、「Introductory Statistics-E2」を除く）8単位以上を含む16単位以上		
情報学科目群	6単位以上		
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			

外国語科目群	16 単位以上	「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位、合わせて 8 単位修得すること。 英語以外の外国語（日本語を除く）は、初級から 1 か国語 8 単位以上修得すること。 日本語（外国人留学生のみ選択可能）は、日本語上級から計 8 単位修得すること。
合計	56 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献研究（経・英）A・B-E1」から 4 単位、それ以外の E 科目（科目群、E 科目の категория は問わない）から 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	----------------------	--

【令和 3 年度以前入学者】

外国語科目群において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及び E 科目の単位数が異なります。

人文・社会科学科目群	英語を選択する場合： 14 単位以上 英語を選択しない場合： 10 単位以上	英語を選択する場合： 32 単位以上 （左記で各科目群が要求する最少の単位数の合計ではない。右記に従うこと） 英語を選択しない場合： 24 単位以上 （左記で各科目群が要求する最少の単位数の合計である）	英語を選択する場合： 各科目群が要求する最少の単位数の合計 28 単位に加えて、外国語科目群を除く任意の科目群から 4 単位以上を修得すること。人文・社会科学科目群においては「外国文献研究（経・英）A・B-E1」計 4 単位を含むこと。かつ、「外国文献研究（経・英）A・B-E1」以外の任意の科目群の E 科目 4 単位以上を含むこと。ただし、「外国文献研究（経・英）A・B-E1」は計 4 単位を超えて修得することはできない。（E 科目については下欄の表を確認すること）
自然科学科目群	8 単位以上		
情報学科目群	6 単位以上		
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			
外国語科目群		英語を選択する場合： 24 単位以上 英語を選択しない場合： 32 単位以上	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 2 か国語を履修すること。 ただし、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。 英語は、「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位、計 8 単位修得すること。 英語以外の外国語（日本語を除く）は、初級から 8 単位以上、中・上級から 8 単位以上、1 か国語につき計 16 単位以上修得すること。 日本語は、日本語上級、「経済・経営日本語（上級）I・II」（令和 2 年度より廃止）から計 16 単位を修得すること。
合計		56 単位以上	

E 科目	外国語科目群で英語を選択する場合、上記の単位数のうち 8 単位以上含むこと	「外国文献研究（経・英）A・B-E1」から 4 単位、それ以外の E 科目（科目群、E 科目の категория は問わない）から 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	---------------------------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

(令和2年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位(全学共通科目の上限は26単位)です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、「学生便覧(経済学部)」を参照してください。

(平成31年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき34単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 各群における指示事項

(令和4年度以降入学者)

(1) 人文・社会科学科目群について

必ず「外国文献研究(経・英)A・B-E1」(2回生以上対象科目)の単位を修得してください。ただし、計4単位を超えて修得することはできません。

(2) 自然科学科目群について

数学は経済学の学習に必要な不可欠な科目であるため、下記a.の講義を履修することを強く推奨します。また、理系入試による入学者および理論的分析やデータ科学分野に関心のある学生は、理学部指定の数学の講義b.を履修することを強く推奨します。

a. 数学基礎(経済学一般の学習に最低限必要な数学力の修得を目指す)

「数学基礎A・B(8単位)」を履修してください。

b. 理系用数学講義(理論的分析やデータ科学分野を学ぶ上で最低限必要な数学力の修得を目指す)

「微分積分学(講義・演義)A・B(6単位)」、「線形代数学(講義・演義)A・B(6単位)」を履修してください。なお、1回生がこれらの科目を履修する場合は、特別履修の手続き(p.49~参照)が必要になりますので、所定の期間内に履修手続きを行ってください。

上記b.を履修した学生は、引き続き「微分積分学統論I・II(4単位)」「線形代数学統論(2単位)」を履修することを推奨します。

なお、データ科学分野のうち、「統計入門」「Introductory Statistics-E2」はデータ科学分野選択制度の対象から除外し、通常自然科学科目群として取り扱います。「統計入門」の内容を含みながら、より経済学に即した講義内容である、学部入門科目の「統計学1」の履修をすすめます。詳しくは「学生便覧(経済学部)」を参照してください。

(3) 外国語科目群について

- ① 「フランス語I(8Hコース)」は16単位中8単位のみ、「ドイツ語I(6Hコース)」「ドイツ語II(6Hコース)」「フランス語II(6Hコース)」は12単位中8単位のみ、修得すべき全学共通科目の単位として認めます。
- ② 「スペイン語I(会話)」は、修得すべき全学共通科目の単位として認めません。
- ③ 初修外国語の履修において、「初修外国語初級免除」の場合は、卒業に必要な単位数を中級以上で修得してください。なお、初級免除を受けた場合は、必ず経済学部教務掛へ申し出てください。

(4) E科目について

- ① 「外国文献研究(経・英)A・B-E1」は重複履修が認められます。例えば「外国文献研究(経・英)A-E1」を4単位修得した場合、4単位とも、修得すべき全学共通科目の単位として認められます。ただし、同一科目かつ同一教員の科目の履修は避けてください。1開講期に履修できるのは、1科目のみです。
- ② E科目を修得すると、そのE科目が属する科目群の単位数としてカウントされます。したがってE科目を修得するほど、各科目群の要求する単位数を満たすことができます。
- ③ 外国語科目群を除く7科目群について、各科目群が求める最少の単位数の合計と、7科目群が全体として求める単位数は、後者の方が4単位多く定められています。これは、「外国文献研究(経・英)A・B-E1」を除くE科目に求める最少4単位を、科目群の制約なく自由に選べるようにするためです。4単位の差に注意してください。

例 初修外国語の継続を選択した場合、7科目群の各科目群の合計は28単位、7科目群が全体として求める単位数は32単位です。またデータ科学分野選択制度を利用した場合、7科目群の各科目群の合計は36単位、7科目群が全体として求める単位数は40単位です。両ケースにおいて、仮に各科目群が求める各単位数をすべてE科目以外で満たした場合、さらに7科目群の任意のE科目4単位以上を修得する必要があります。(逆

に、仮に各科目群が求める各単位数をすべて E 科目で満たしたとしても、7 科目群が全体として求める単位数には足りません。)

(令和3年度以前入学者)

(1) 人文・社会科学科目群について

外国語科目群において英語を選択しない場合でも「外国文献研究(経・英) A・B-E1」(2回生以上対象科目)は修得できますが、修得すべき全学共通科目の単位としては認めません。

(2) 自然科学科目群について

数学は経済学の学習に必要な不可欠な科目であるため、下記 a. の講義を履修することを強く推奨します。また、理系入試による合格者及び理論経済学・統計学を専攻する予定の学生は、理学部・工学部指定の数学の講義 b. を履修することを強く推奨します。

a. 数学基礎(経済学一般の学習に最低限必要な数学力の修得を目指す)

「数学基礎 A・B (8 単位)」を履修してください。

b. 理系用数学講義(理論経済学・統計学を専攻する上で最低限必要な数学力の修得を目指す)

「微分積分学(講義・演義) A・B (6 単位)」、「線形代数学(講義・演義) A・B (6 単位)」を履修してください。なお、1回生がこれらの科目を履修するときは、特別履修の手続き(p.49~参照)が必要になりますので、所定の期間内に履修手続きを行ってください。

上記 b. を履修した学生は、引き続き「微分積分学統論 I・II (4 単位)」、「線形代数学統論 (2 単位)」を履修することを推奨します。

(3) 外国語科目群について

① 外国語科目において英語を選択するか否かによって、修得すべき人文・社会科学科目群、外国語科目群及び E 科目の単位数が異なり、入学時の外国語科目履修選択手続に従い事務処理が行われます。入学時に英語を選択していたが英語の選択をやめる場合、もしくは英語を選択していなかったが英語選択に変更する場合は、これに応じた事務処理を行う必要がありますので、全学共通科目学生窓口で変更手続きを行ってください。

② 「フランス語 I (8H コース)」は 16 単位中 8 単位のみ、「ドイツ語 I (6H コース)」「ドイツ語 II (6H コース)」「フランス語 II (6H コース)」は 12 単位中 8 単位のみ、修得すべき全学共通科目の単位として認めます。

③ 「スペイン語 I (会話)」は、修得すべき全学共通科目の単位として認めません。

④ 初修外国語の履修において、「初修外国語初級免除」の場合は、卒業に必要な単位数を中級以上で修得してください。なお、初級免除を受けた場合は、必ず経済学部教務掛へ申し出てください。

(4) E 科目について

① 外国語科目群において英語を選択するか否かにかかわらず、「外国文献研究(経・英) A・B-E1」は 4 単位を超えて修得することはできません。

② 「外国文献研究(経・英) A・B-E1」は重複履修が認められません。例えば「外国文献研究(経・英) A-E1」を 4 単位修得した場合、4 単位とも、修得すべき全学共通科目の単位として認められます。ただし、同一科目かつ同一教員の科目の履修は避けてください。1 開講期に履修できるのは、1 科目のみです。

③ E 科目を修得すると、その E 科目が属する科目群の単位数としてカウントされます。したがって E 科目を修得するほど、各科目群の要求する単位数を満たすことができます。そのため、英語を選択する場合、E 科目を 8 単位以上修得しながら、各科目群の要求する単位数を最少単位数で満たした場合、先の表に述べられている通り、7 科目群で計 32 単位以上という要件を満たさないことに注意してください。

例 人文・社会科学科目群から、E 科目「外国文献研究(経・英) A・B-E1」を 4 単位、その他 E 科目を 4 単位修得しながら(E 科目計 8 単位)、人文・社会科学科目群の単位数を最少単位数の 14 単位で満たし、かつ、他の 6 科目群の要求する単位数を最少単位数で満たしても、これらの合計単位数は 28 単位に過ぎません。この場合、さらに任意の科目を 7 科目群の中から 4 単位以上修得する必要があります。

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	10 単位以上	24 単位以上	人文・社会科学科目群の Kyoto iUP 生専用科目（令和 6 年度不開講）は 2 単位まで認める。
自然科学科目群	8 単位以上		
情報学科目群	6 単位以上		
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			
外国語科目群	32 単位以上	下記の中から選択し 32 単位を修得すること。 ・「英語リーディング」 ・「英語ライティングーリスニング A・B」 ・初修外国語（母国語を除く。ただし日本語については、経済学部が指定する日本語上級及び Kyoto iUP 生専用日本語科目のみ認める。）	
合計	56 単位以上		

E 科目	E 科目の卒業に必要な単位数は特に定めない。
------	------------------------

2. 履修登録単位数の上限について

（令和 2 年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位（全学共通科目の上限は 26 単位）です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、「学生便覧（経済学部）」を参照してください。

3. 各群における指示事項

(1) 人文・社会科学科目群について

人文・社会科学科目群の Kyoto iUP 生専用科目（令和 6 年度不開講）は 2 単位まで修得すべき全学共通科目の単位として認めます。「外国文献研究（経・英）A・B-E1」（2 回生以上対象科目）は修得できますが、修得すべき全学共通科目の単位としては認めません。

(2) 自然科学科目群について

数学は経済学の学習に必要な不可欠な科目であるため、下記 a. の講義を履修することを強く推奨します。また、理論経済学・統計学を専攻する予定の学生は、理学部・工学部指定の数学の講義 b. を履修することを強く推奨します。

a. 数学基礎（経済学一般の学習に最低限必要な数学力の修得を目指す）

「数学基礎 A・B（8 単位）」を履修してください。

b. 理系用数学講義（理論経済学・統計学を専攻する上で最低限必要な数学力の修得を目指す）

「微分積分学（講義・演義）A・B（6 単位）」、「線形代数学（講義・演義）A・B（6 単位）」を履修してください。なお、1 回生がこれらの科目を履修するときは、特別履修の手続き（p.49～参照）が必要になりますので、所定の期間内に履修手続きを行ってください。

上記 b. を履修した学生は、引き続き「微分積分学統論 I・II（4 単位）」、「線形代数学統論（2 単位）」を履修することを推奨します。

(3) 外国語科目群について

① 外国語の履修については、学生の日本語レベルに応じて履修指導を行います。

② 「フランス語 I（8H コース）」は 16 単位中 8 単位のみ、「ドイツ語 I（6H コース）」「ドイツ語 II（6H コース）」「フランス語 II（6H コース）」は 12 単位中 8 単位のみ、修得すべき全学共通科目の単位として認めます。

③ 「スペイン語 I（会話）」は、修得すべき全学共通科目の単位として認めません。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	12 単位以上 24 単位まで	令和 6 年度 以降 入 学 者	<ul style="list-style-type: none"> ・7 つの分野（「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・文学・言語」、「教育・心理・社会」、「地域・文化」、「法・政治・経済」、「外国文献研究」）から 3 つ以上の異なる分野の科目の単位を修得することを必要要件とする。 ・人文・社会科学科目群において、卒業単位として認める上記の 7 つの分野に含まれる E 科目について、「基礎」科目の履修を推奨する。 ・外国人留学生が留学生向けに開講される「日本理解」分野の科目の単位を修得しても単位修得が必要な 3 つ以上の異なる分野の 1 つとしては認めないが、卒業に必要な単位としては認める。
		平成 28～ 令和 5 年度 入 学 者	<ul style="list-style-type: none"> ・7 つの分野（「哲学・思想」、「歴史・文明」、「芸術・文学・言語」、「教育・心理・社会」、「地域・文化」、「法・政治・経済」、「外国文献研究」）から 3 つ以上の異なる分野の科目の単位を修得することを必要要件とする。 ・人文・社会科学科目群において、卒業単位として認める上記の 7 つの分野に含まれる E 科目は 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。 ・平成 29 年度以降入学の外国人留学生は、留学生向けに開講される「日本理解」分野の科目の単位を修得しても単位修得が必要な 3 つ以上の異なる分野の 1 つとしては認めないが、卒業に必要な単位としては認める。 ・平成 28 年度入学の外国人留学生は、留学生向けに開講される「日本理解」分野の科目の単位を修得しても単位修得が必要な 3 つ以上の異なる分野の 1 つとしても、卒業に必要な単位としても認めない。
外国語科目群	16 単位以上 20 単位まで		英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 8 単位以上 12 単位まで。計 16 単位以上 20 単位までを卒業に必要な単位として認める。ただし、日本語は外国人留学生のみとし、日本語中級・日本語上級を修得した場合、卒業に必要な単位として認める。
情報学科目群	4 単位まで		専門基礎科目に指定した全学共通科目を除く。
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群	4 単位まで		
専門基礎科目	24 単位以上 38 単位まで		理学部が専門基礎科目に指定した全学共通科目及び理学部学部科目
合計	52 単位以上		

E 科目

上記の卒業に必要な単位として認定される E 科目は、開講科目群の単位（専門基礎科目の場合は専門基礎科目の単位）及び E 科目の単位として認定される。専門基礎科目の単位として認定される科目については、次表の「理学部が専門基礎科目に指定した E2 科目」を参照。（理学部冊子「2024 年度教科の手引き」の「2024 年度開講専門基礎科目」にも掲載。）上記の単位として認定されない E 科目であっても、E 科目の単位としては認定される。E 科目を計 4 単位以上修得することを卒業要件とする。

理学部が専門基礎科目に指定した E2 科目

科目名	単位数	科目名	単位数
自然科学科目群			
Honors Mathematics A-E2	2	Introduction to Inorganic Chemistry B-E2	2
Honors Mathematics B-E2	2	Organic Chemistry of Life-E2 (令和6年度不開講)	2
Advanced Linear Algebra-E2 (令和6年度不開講)	2	Fundamental Chemical Experiments-E2	2
Mathematical Statistics-E2 ※	2	Introduction to Surface Chemistry-E2	2
Introductory Statistics-E2	2	Thermodynamics in Everyday Life-E2	2
Second Course in Statistics-E2 ※	2	Introduction to Earth Science B-E2	2
Nonlinear Mathematics-E2	2	Advanced Practice of Earth Science-E2	4
Function Theory of a Complex Variable-E2	2	Field Earth Science-E2	2
Fundamental Physics A-E2	2	Introduction to Mineral Resources-E2	2
Fundamental Physics B-E2	2	Fundamentals of Organismal and Population Biology-E2	2
Elementary Course of Physics A-E2	2	Fundamentals of Cell and Molecular Biology-E2	2
Elementary Course of Physics B-E2	2	Introduction to Biology and Life Science-E2	2
Thermodynamics-E2	2	Introduction to Plant Science-E2	2
Elementary Experimental Physics-E2	2	Introduction to Biochemistry-E2	2
Theory of Special Relativity-E2	2	Principles of Genetics-E2	2
Advanced Course of Electromagnetism-E2	2	Basic Plant Science-E2 (令和6年度不開講)	2
Soft Matter Physics-E2:From Condensed Matter to Life	2	Introductory Plant Ecology-E2	2
Introduction to General Astronomy-E2	2	Basic Biology-E2	2
Introduction to Cosmology-E2	2	Introduction to Genetics and Evolution-E2	2
Essentials of Basic Physical Chemistry-E2	2	Introduction to Ecology and Evolution-E2	2
Basic Physical Chemistry (quantum theory)-E2	2	Animal Behavior-E2	2
Basic Physical Chemistry (thermodynamics)-E2	2	Biological Sciences through Scientific Articles I-E2	2
Basic Organic Chemistry I-E2	2	Biological Sciences through Scientific Articles II-E2	2
Basic Organic Chemistry II-E2	2	Introduction to Ecology-E2 (令和2年度より廃止)	2
Introduction to Inorganic Chemistry A-E2	2	Introduction to Evolution-E2 (令和2年度より廃止)	2
統合科学科目群			
Interdisciplinary Sciences-E2:Global Changes ※	2		

※ 令和4年度以降に履修し修得した場合、理学部専門基礎科目として認定されます。

2. 履修登録単位数の上限について

(令和2年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位(1回生前期のみ34単位)です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、理学部冊子「2024年度教科の手引き」を参照してください。

(平成31年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき34単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

本年度の専門基礎科目は、理学部冊子『2024年度 教科の手引き』の「系登録および卒業のための履修要件、科目区分、専門基礎科目」のページを参照してください。

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	12 単位以上 24 単位まで	<ul style="list-style-type: none"> ・修得した外国語科目群の「日本語 初級・中級・上級」の単位のうち 8 単位まで、人文・社会科学科目群の科目として認める。これに加えて、指導教員及び学部教務委員会が認めた場合、さらに 12 単位まで「日本語 初級・中級・上級」の単位を人文・社会科学科目群の単位として認めることがある。また、人文・社会科学科目群の Kyoto iUP 生専用科目（令和 6 年度不開講）は 2 単位まで認める。 ・上記に加えて、人文・社会科学科目群から 2 単位以上修得することとし、そのうち 2 単位は日本語で開講される科目の履修を推奨する。 ・令和 5 年度入学者については、人文・社会科学科目群の E 科目は 4 単位までを卒業単位として認める。
外国語科目群	16 単位以上 20 単位まで	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、日本語 8 単位を修得すること。上記に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語から 4 単位まで修得を認める。
情報学科目群	4 単位まで	専門基礎科目に指定した全学共通科目を除く。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		
少人数教育科目群	4 単位まで	
専門基礎科目	24 単位以上 38 単位まで	理学部が専門基礎科目に指定した全学共通科目及び理学部学部科目
合計	52 単位以上	

E 科目	上記の卒業に必要な単位として認定される E 科目は、開講科目群の単位（専門基礎科目の場合は専門基礎科目の単位）及び E 科目の単位として認定される。上記の単位として認定されない E 科目であっても、E 科目の単位としては認定される。E 科目を計 4 単位以上修得することを卒業要件とする。
------	--

2. 履修登録単位数の上限について

（令和 2 年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位（1 回生前期のみ 34 単位）です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、理学部冊子「2024 年度教科の手引き」を参照してください。

3. 指示事項

本年度の専門基礎科目は、理学部冊子『2024 年度 教科の手引き』の「系登録および卒業のための履修要件、科目区分、専門基礎科目」のページを参照してください。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	18 単位以上		うち 2 単位は情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群の科目で代替可能。	
自然科学科目群	平成 30 年度以降入学者：18 単位以上	平成 30 年度以降入学者：44 単位以上	平成 31 年度以降入学者： 必修科目 8 単位及び選択必修科目 4 単位以上、「数学」分野の科目 2 単位以上を含む計 18 単位以上修得すること。 【3. 指示事項(1) 自然科学科目群について 参照】	
	平成 28,29 年度入学者：20 単位以上	平成 28,29 年度入学者：46 単位以上	平成 30 年度入学者： 必修科目 8 単位及び選択必修科目 8 単位以上、「数学」分野の科目 2 単位以上を含む計 18 単位以上修得すること。 【3. 指示事項(1) 自然科学科目群について 参照】	
			平成 28, 29 年度入学者： 必修科目 14 単位及び選択必修科目 4 単位以上、「数学」分野の科目 2 単位以上、計 20 単位以上修得すること。 【3. 指示事項(1) 自然科学科目群について 参照】	
	健康・スポーツ科目群	2 単位以上		必修科目「医学概論」2 単位を含む。
	キャリア形成科目群	2 単位以上		必修科目「臨床コミュニケーション (医・英) -E3」2 単位を含む。
情報学科目群				
統合科学科目群				
少人数教育科目群				
外国語科目群		16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）、ドイツ語またはフランス語から 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。 【3. 指示事項(2) 外国語科目群について 参照】	
合計		平成 30 年度以降入学者：60 単位以上 平成 28, 29 年度入学者：62 単位以上	上記の各科目群の必要単位数を満たし、下記 E 科目欄の指示に従って E 科目を平成 31 年度以降入学者は計 6 単位以上、平成 28～30 年度入学者は計 4 単位以上含んで、平成 30 年度以降入学者は計 60 単位以上、平成 28, 29 年度入学者は計 62 単位以上修得すること。	

E 科目	平成 31 年度以降入学者： 上記の単位数のうち 6 単位以上含むこと	平成 31 年度以降入学者： E 科目の選択必修科目 4 単位以上を含む計 6 単位以上を含めなければならない（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）。 なお、以下の科目は卒業に必要な E 科目として認定しない。 ・ Introduction to Biochemistry-E2（自然科学科目群の必修科目） ・ Introductory Statistics-E2（自然科学科目群必修科目「統計入門」に対応する科目） ・ 臨床コミュニケーション (医・英) -E3（キャリア形成科目群必修科目）
	平成 28～30 年度入学者： 上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	平成 28～30 年度入学者： E 科目の選択必修科目 2 単位以上を含む計 4 単位以上を含めなければならない（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）。

		<p>なお、以下の科目は卒業に必要な E 科目として認定しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Introduction to Biochemistry-E2 (自然科学科目群の必修科目) ・ Introductory Statistics-E2 (自然科学科目群必修科目「統計入門」に対応する科目) ・ Introduction to Molecular Biotechnology-E2 (自然科学科目群選択必修科目) ・ Principles of Genetics-E2 (自然科学科目群選択必修科目) ・ 臨床コミュニケーション (医・英) -E3 (キャリア形成科目群必修科目) <p>【3. 指示事項(3) E 科目について 参照】</p>
--	--	--

2. 履修登録単位数の上限について

(令和2年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は、30単位を目安に各回生の学期によって異なります。

各回生、学期の上限単位数は、1回生前期 36 単位、後期 34 単位、2回生前期・後期 36 単位、3回生以降は 30 単位です。

あわせて、上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、医学部医学科の教科の手引きを参照してください。

(平成31年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

(1) 自然科学科目群について

① 「Ⅲ. 4. 全学共通科目授業一覧」(p.121～)において対象学生が「文系向」となっている科目、及び「数学」「物理学」「化学」「生物学」分野以外の科目については、医学部医学科では自然科学科目群として認められませんので、注意してください。

② 必修科目

【平成30年度以降入学者】

科目名	単位数	備考
統計入門	2	1回生クラス指定科目
細胞と分子の基礎生物学	2	1回生クラス指定科目 ※
分子遺伝学	2	
Introduction to Biochemistry-E2	2	履修曜時限は医学部医学科より別途指定

※「細胞と分子の基礎生物学」は、医学科指定クラス以外は必修科目として認めません。

【平成28,29年度入学者】

科目名	単位数	備考
統計入門	2	1回生クラス指定科目
細胞と分子の基礎生物学	2	1回生クラス指定科目 ※
分子遺伝学	2	
Introduction to Biochemistry-E2	2	履修曜時限は医学部医学科より別途指定
物理学基礎論 A	2	1回生クラス指定科目
物理学基礎論 B	2	1回生クラス指定科目
基礎有機化学 I	2	1回生クラス指定科目

※「細胞と分子の基礎生物学」は、医学科指定クラス以外は必修科目として認めません。

③ 選択必修科目

【平成31年度以降入学者】

下記、講義科目より4単位以上、修得してください。

	科目名	単位数	備考
講義科目	物理学基礎論A	2	1回生クラス指定科目
	物理学基礎論B	2	1回生クラス指定科目
	基礎有機化学 I	2	1回生クラス指定科目
	基礎有機化学 II	2	1回生クラス指定科目

【平成 30 年度入学者】

下記、講義科目①より 4 単位以上、講義科目②より 2 単位以上、実験・実習科目より 2 単位以上、合計 8 単位以上修得してください（◎は選択履修することを特に推奨する科目）。

	科目名	単位数	備考
講義科目①	物理学基礎論A	2	1回生クラス指定科目
	物理学基礎論B	2	1回生クラス指定科目
	基礎有機化学 I	2	1回生クラス指定科目
	基礎有機化学 II	2	1回生クラス指定科目
講義科目②	Introduction to Molecular Biotechnology-E2	2	
	Principles of Genetics-E2	2	
実験・実習科目	基礎化学実験	2	◎1回生クラス指定科目
	物理学実験	2	
	生物学実習 I	2	
	生物学実習 II	2	
	生物学実習 III	2	

【平成 28, 29 年度入学者】

下記、講義科目より 2 単位以上、実験・実習科目より 2 単位以上、合計 4 単位以上修得してください（◎は選択履修することを特に推奨する科目）。

	科目名	単位数	備考
講義科目	Introduction to Molecular Biotechnology-E2	2	
	Principles of Genetics-E2	2	
実験・実習科目	基礎化学実験	2	◎1回生クラス指定科目
	物理学実験	2	
	生物学実習 I	2	
	生物学実習 II	2	
	生物学実習 III	2	

- ④ 「数学」分野の科目から 2 単位以上修得しなければなりません。

医学のあらゆる領域で数学の必要性が高いため「微分積分学（講義・演義）A」「線形代数学（講義・演義）A」の履修を推奨します。

- (2) 外国語科目群について

初修外国語はドイツ語、又はフランス語から次のとおり修得してください。

- ✧ ドイツ語を選択する場合

「ドイツ語 IA（文法）・IB（文法）」と「ドイツ語 IA（演習）・IB（演習）」を含む計 8 単位以上。

- ✧ フランス語を選択する場合

「フランス語 IA（文法）・IB（文法）」と「フランス語 IA（演習）・IB（演習）」を含む計 8 単位以上。

- (3) E 科目について

【平成 31 年度以降入学者】

下記選択必修科目より 4 単位以上を含み、E 科目から計 6 単位以上修得してください。

科目名	単位数	備考
Introduction to Molecular Biotechnology-E2	2	
Principles of Genetics-E2	2	
Introduction to Behavioral Neuroscience A-E2	2	3回生以上の履修推奨※
Introduction to Behavioral Neuroscience B-E2	2	3回生以上の履修推奨※

Introduction to Medical Psychology-E2	2	2回生以上の履修推奨※
Processing and Analyzing Data I-E2 : Shell-based data processing fundamentals	2	
ILAS Seminar-E2 : Project-based data analysis seminar (プロジェクト型データ解析)	2	令和6年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Global Health (グローバルヘルス)	2	令和6年度不開講
ILAS Seminar-E2 : Socio-epidemiology in health research (ヘルスリサーチにおける社会疫学)	2	令和6年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Human Genetics and Genetic Disease (人類遺伝学と遺伝病入門)	2	
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Stem and iPS Cells (幹細胞とiPS細胞入門)	2	
ILAS Seminar-E2 : Biochemistry Principles (生化学の塾)	2	
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Biomedical Presentation and Debate (医学英語入門-プレゼンテーションとディベート)	2	
ILAS Seminar-E2 : Decoding Human Diseases & Medicine(病気のバイオメディカルサイエンス)	2	
ILAS Seminar-E2 : Introduction to life science and scientific conversation (生命科学へのいざない)	2	令和6年度より廃止
アカデミック・コミュニケーション (医・英) -E3	2	令和6年度不開講
Fundamentals of Neuroscience-E2	2	令和3年度より廃止
Introduction to Human Physiology-E2	2	令和3年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Computational Neuroscience (計算論的神経科学入門)	2	令和6年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Minds and Machines- Can a Machine Think (心と機械)	2	令和6年度より廃止
Nutrition and Health-E2	2	2回生以上の履修推奨※
Biology and Sociology of Chronic Diseases-E2	2	
ILAS Seminar-E2 : Ethical issues in Health sciences (健康科学における倫理的課題)	2	令和6年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Critical thinking and Communication skills (批判的思考とコミュニケーション・スキル)	2	令和6年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Applying Data Science to Healthcare - Novel Approaches in Modern Epidemiology (データサイエンスで見る医療-進化している疫学の新たなアプローチ)	2	ILAS Seminar-E2 : Applying Data Science and AI to Healthcare: Novel Approaches in Modern Epidemiology (データサイエンスで見る医療: 進化している疫学の新たなアプローチ) より科目名 (副題) 変更
ILAS Seminar-E2 : From Traditional Herbal Remedies to Robotics and Gene Editing: Breakthroughs in Medical Treatments (漢方からロボット手術と遺伝子編集まで: 治療におけるブレイクスルー)	2	
ILAS Seminar-E2 : It's a Bug's Life - bacteria and viruses (微生物の世界へようこそ)	2	
Microorganisms in our Lives-E2	2	
ILAS Seminar-E2 : How to make scientific Breakthrough- Learning from Nobel discoveries (基礎生物学の発見から疾患の理解へ)	2	
Introduction to Immunology-E2 : The body's defense system	2	
ILAS Seminar-E2 : Psychology of Addiction (依存症の心理学)	2	
ILAS Seminar-E2 : Physiological Neuroscience (生理学的神経科学)	2	
ILAS Seminar-E2 : Disorders of the Nervous System (神経系障害)	2	

※医学科専門科目との順次性を考慮し、医学科生の履修を推奨する回生を記載しています。

【平成 28～30 年度入学者】

下記選択必修科目より 2 単位以上を含み、E 科目から計 4 単位以上修得してください。

科目名	単位数	備考
Introduction to Behavioral Neuroscience A-E2	2	3回生以上の履修推奨※
Introduction to Behavioral Neuroscience B-E2	2	3回生以上の履修推奨※
Introduction to Medical Psychology-E2	2	2回生以上の履修推奨※
Processing and Analyzing Data I-E2 : Shell-based data processing fundamentals	2	
ILAS Seminar-E2 : Project-based data analysis seminar (プロジェクト型データ解析)	2	令和6年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Global Health (グローバルヘルス)	2	令和6年度不開講
ILAS Seminar-E2 : Socio-epidemiology in health research (ヘルスリサーチにおける社会疫学)	2	令和6年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Human Genetics and Genetic Disease (人類遺伝学と遺伝病入門)	2	
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Stem and iPS Cells (幹細胞とiPS細胞入門)	2	
ILAS Seminar-E2 : Biochemistry Principles (生化学の塾)	2	
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Biomedical Presentation and Debate (医学英語入門-プレゼンテーションとディベート)	2	
ILAS Seminar-E2 : Decoding Human Diseases & Medicine(病気のバイオメディカルサイエンス)	2	
ILAS Seminar-E2 : Introduction to life science and scientific conversation (生命科学へのいざない)	2	令和6年度より廃止
アカデミック・コミュニケーション (医・英) -E3	2	令和6年度不開講

Fundamentals of Neuroscience-E2	2	令和3年度より廃止
Introduction to Human Physiology-E2	2	令和3年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Introduction to Computational Neuroscience (計算論的神経科学入門)	2	令和6年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Minds and Machines- Can a Machine Think (心と機械)	2	令和6年度より廃止
Nutrition and Health-E2	2	2回生以上の履修推奨※
Biology and Sociology of Chronic Diseases-E2	2	
ILAS Seminar-E2 : Ethical issues in Health sciences (健康科学における倫理的課題)	2	令和6年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Critical thinking and Communication skills (批判的思考とコミュニケーション・スキル)	2	令和6年度より廃止
ILAS Seminar-E2 : Applying Data Science to Healthcare - Novel Approaches in Modern Epidemiology (データサイエンスで見る医療-進化している疫学の新たなアプローチ)	2	ILAS Seminar-E2 : Applying Data Science and AI to Healthcare: Novel Approaches in Modern Epidemiology (データサイエンスで見る医療:進化している疫学の新たなアプローチ) より科目名(副題)変更
ILAS Seminar-E2 : From Traditional Herbal Remedies to Robotics and Gene Editing: Breakthroughs in Medical Treatments (漢方からロボット手術と遺伝子編集まで:治療におけるブレイクスルー)	2	
ILAS Seminar-E2 : It's a Bug's Life - bacteria and viruses (微生物の世界へようこそ)	2	
Microorganisms in our Lives-E2	2	
ILAS Seminar-E2 : How to make scientific Breakthrough- Learning from Nobel discoveries (基礎生物学の発見から疾患の理解へ)	2	
Introduction to Immunology-E2 : The body's defense system	2	
ILAS Seminar-E2 : Psychology of Addiction (依存症の心理学)	2	
ILAS Seminar-E2 : Physiological Neuroscience (生理学的神経科学)	2	
ILAS Seminar-E2 : Disorders of the Nervous System (神経系障害)	2	

※医学科専門科目との順次性を考慮し、医学科生の履修を推奨する回生を記載しています。

医学部 <人間健康科学科>

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

【平成 29 年度以降入学者】

人文・社会科学科目群	10 単位以上	8 単位以上※	履修することが望ましい科目は下表を参照。 英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。
自然科学科目群	10 単位以上		
外国語科目群	16 単位以上		
情報学科目群	10 単位以上		
健康・スポーツ科目群			
キャリア形成科目群			
統合科学科目群			
少人数教育科目群			
合計	54 単位以上		

※各科目群の必要単位数を満たしたうえで、8 科目群より自由選択で 8 単位以上修得すること。

（総合医療科学コースでは、うち 8 単位を自然科学科目群から選択すること。）

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	科目群を問わず計 4 単位以上を含めなければならない。 うち 2 単位は E2 に指定されている科目を含むこと。 （学科が推薦する E 科目（E2）は次表を参照）
------	----------------------	---

履修することが望ましい科目

科目名	単位数	選択履修区分	群
微分積分学（講義・演義）A	3	○	自然科学科目群
微分積分学（講義・演義）B	3	○	同上
線形代数学（講義・演義）A	3	○	同上
線形代数学（講義・演義）B	3	○	同上
物理学基礎論 A	2	○	同上
物理学基礎論 B	2	○	同上
物理学実験	2	○※	同上
基礎化学実験	2	○※	同上
基礎有機化学 I	2	○	同上
細胞と分子の基礎生物学	2	◎	同上
統計入門	2	○	同上
情報基礎演習	2	◎	情報学科目群
情報基礎	2	◎	同上
スポーツ実習 I A または I B	1	○	健康・スポーツ科目群
健康・生命科学入門	2	◎	同上
「薬の世界」入門	2	○	同上
リハビリテーション概論	2	○	同上

◎：履修することを強く推奨する科目 ○：履修することが望ましい科目

※総合医療科学コースでは選択必修（総合医療科学コースでは物理学実験または基礎化学実験のどちらかの単位を修得することが卒業要件となっているため、同コースを選択する可能性がある場合には履修し、単位を修得すること。なお、総合医療科学コースにて臨床検査教育プログラムを履修しない令和 6 年度以降入学者は、物理学実験の単位の修得が総合医療科学特別セミナー I の履修要件となっているため、物理学実験の単位を修得すること。）

学科が推薦する E 科目 (E2) ※

科目名	単位数	群
Data Analysis Practice II-E2	2	自然科学科目群
Structures and Mechanisms of Human Movement-E2	2	健康・スポーツ科目群
Introduction to Basic Concepts of Health Psychology-E2 : Communication Issues and Decision-making in Patient Care	2	同上
Cultural Aspects of Health Care-E2	2	同上

※E2 科目は人数制限があるので注意すること。

学科が推薦する E 科目 (ILAS Seminar-E2) ※

科目名	単位数	群
ILAS Seminar-E2: Let's create 3D computer animations (三次元アニメーションを作ってみよう)	2	少人数教育科目群
ILAS Seminar-E2: Let's simulate human movement (コンピューターで人を動かしてみよう)	2	同上
ILAS Seminar-E2 :Current issues in palliative care- the International Context (ヨーロッパにおける緩和ケア) (ILAS Seminar-E2 : Clinical and ethical issues within palliative care- the European Context (ヨーロッパにおける緩和ケア) より科目名 (副題) 変更)	2	同上
ILAS Seminar-E2 : Qualitative research methods in health care (ヘルスケアにおける質的研究) (ILAS Seminar-E2 :Understanding and critical appraisal of qualitative research methods in health care (ヘルスケアにおける質的研究) より科目名 (副題) 変更)	2	同上

※ILAS Seminar-E2 は少人数教育科目群のため人数制限があるので注意すること。

2. 履修登録単位数の上限について

(令和2年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、SCHOOL LIFE 2024を参照してください。

(平成31年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき34単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

工学部地球工学科国際コース向け科目は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群の科目を卒業に必要な単位として認定します。

薬学部 <各学科共通>

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	10 単位以上	
自然科学科目群	32 単位以上	必修科目 10 単位、選択必修科目および選択科目 22 単位以上（選択必修科目 12 単位以上を含む）、計 32 単位以上修得すること。
情報科学科目群		
健康・スポーツ科目群		
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（日本語上級から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
キャリア形成科目群	6 単位以上	キャリア形成科目群の必修科目（薬学部提供の「科学コミュニケーションの基礎と実践（薬・英）A・B-E3」各 2 単位）を含め計 6 単位以上修得すること。
統合科学科目群		
少人数教育科目群		
合計	64 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 8 単位以上含むこと	必修科目（薬学部提供の「科学コミュニケーションの基礎と実践（薬・英）A・B-E3」各 2 単位）4 単位、それ以外の E 科目（科目群、E 科目のカテゴリーは問わない）から計 4 単位以上、計 8 単位以上を含めなければならない。
------	----------------------	---

2. 履修登録単位数の上限について

（令和 2 年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、「薬学部 学生便覧・シラバス」を参照してください。

（平成 31 年度以前入学者）

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 自然科学科目群、情報科学科目群、健康・スポーツ科目群について
必修科目、選択必修科目、選択科目の区分は、下表のとおりです。

【令和 4 年度以降入学者】

区分	科目名	単位数	備考
必修科目	基礎物理化学（熱力学）	2	薬学部開講科目（自然科学科目群）
	基礎有機化学 I	2	同 上（同 上）
	基礎有機化学 II	2	同 上（同 上）
	基礎化学実験	2	（自然科学科目群）
	「薬の世界」入門	2	薬学部開講科目（健康・スポーツ科目群）
選択必修科目	微分積分学（講義・演義）A	3	（自然科学科目群）
	微分積分学（講義・演義）B	3	（同 上）
	線形代数学（講義・演義）A	3	（同 上）
	線形代数学（講義・演義）B	3	（同 上）
	物理学基礎論 A	2	（同 上）
	物理学基礎論 B	2	（同 上）
	熱力学	2	（同 上）
	物理学実験	2	（同 上）
	生物学実習 III	2	（同 上）
	統計入門	2	（同 上）
	Introduction to Molecular Cell Biology-E2	2	（同 上）

	Basic Biology and Metabolism-E2	2	(同 上)
	Introduction to Biosciences-E2	2	(同 上)
	Introduction to Biological Data Analysis-E2	2	(同 上)
	Introduction to Computational Molecular Biology-E2	2	(同 上)
	健康・生命科学入門	2	薬学部開講科目 (健康・スポーツ科目群)
	情報基礎 [薬学部]	2	薬学部開講科目 (情報学科目群)
	情報基礎演習 [薬学部]	2	同 上 (同 上)
選択科目	上記以外の科目		

【平成30年度～令和3年度入学者】

区分	科目名	単位数	備考
必修科目	基礎物理化学 (熱力学)	2	薬学部開講科目 (自然科学科目群)
	基礎有機化学 I	2	同 上 (同 上)
	基礎有機化学 II	2	同 上 (同 上)
	基礎化学実験	2	(自然科学科目群)
	「薬の世界」入門	2	薬学部開講科目 (健康・スポーツ科目群)
選択必修科目	微分積分学 (講義・演義) A	3	(自然科学科目群)
	微分積分学 (講義・演義) B	3	(同 上)
	線形代数学 (講義・演義) A	3	(同 上)
	線形代数学 (講義・演義) B	3	(同 上)
	物理学基礎論 A	2	(同 上)
	物理学基礎論 B	2	(同 上)
	熱力学	2	(同 上)
	物理学実験	2	(同 上)
	生物学実習Ⅲ	2	(同 上)
	統計入門	2	(同 上)
	健康・生命科学入門	2	薬学部開講科目 (健康・スポーツ科目群)
	薬用植物学 (令和6年度より廃止)	2	同 上 (同 上)
	情報基礎 [薬学部]	2	薬学部開講科目 (情報学科目群)
	情報基礎演習 [薬学部]	2	同 上 (同 上)
	選択科目	上記以外の科目	

【平成28,29年度入学者】

区分	科目名	単位数	備考
必修科目	基礎物理化学 (熱力学)	2	薬学部提供科目 (自然科学科目群)
	基礎有機化学 I	2	同 上 (同 上)
	基礎有機化学 II	2	同 上 (同 上)
	「薬の世界」入門	2	同 上 (健康・スポーツ科目群)
	健康・生命科学入門	2	同 上 (同 上)
選択必修科目	微分積分学 (講義・演義) A	3	(自然科学科目群)
	微分積分学 (講義・演義) B	3	(同 上)
	線形代数学 (講義・演義) A	3	(同 上)
	線形代数学 (講義・演義) B	3	(同 上)
	物理学基礎論 A	2	(同 上)
	物理学基礎論 B	2	(同 上)
	熱力学	2	(同 上)
	物理学実験	2	(同 上)
	基礎化学実験	2	(同 上)
	生物学実習Ⅲ	2	(同 上)
	統計入門	2	(同 上)
	薬用植物学 (令和6年度より廃止)	2	薬学部提供科目 (健康・スポーツ科目群)
	情報基礎 [薬学部]	2	同 上 (情報学科目群)
	情報基礎演習 [薬学部]	2	同 上 (同 上)
	選択科目	上記以外の科目	

- (2) 平成30年度以降入学者について、自然科学科目群の「統計入門」(2回生配当)は履修することが望ましいです。

- (3) 平成 28, 29 年度入学者について、自然科学科目群の「基礎化学実験」、「統計入門」(2 回生担当) は履修することが望ましいです。
- (4) 自然科学科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群の選択必修科目の卒業必要単位数 12 単位を超えて修得したときの単位数は、同群選択科目の卒業必要単位数に算入します。
- (5) キャリア形成科目群について
薬学部提供の「科学コミュニケーションの基礎と実践(薬・英) A・B-E3」(2 回生以上対象科目) 各 2 単位計 4 単位を修得しなければなりません。

工 学 部 <地球工学科>

【土木工学コース、資源工学コース、環境工学コース】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

【令和5年度以降入学者】

人文・社会科学科目群	12 単位以上 16 単位まで	
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上 20 単位まで	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（日本語上級から修得すること※）のうちから 1 か国語 8 単位以上 12 単位まで、計 16 単位以上 20 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。 ※入学時のプレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級の履修を認めることがある。
情報学科目群	4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	4 単位まで	4 単位まで卒業に必要な単位として認めるが、「スポーツ実習」分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群	4 単位まで	「コンプライアンス」分野（令和 6 年度開講科目なし）および「国際コミュニケーション」分野の科目ならびに「起業と事業創造」のみ、4 単位まで卒業単位として認める。 ※「起業と事業創造」は「その他キャリア形成」分野の科目
統合科学科目群	4 単位まで	「統合科学」分野及び「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	68 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位含むこと	卒業要件に指定する全学共通科目の E 科目から 4 単位含むこと。ただし、E2 科目から認められるのは自然科学科目群および情報学科目群を除く 2 単位まで。詳細は工学部履修要覧を確認すること。 「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」を付された E2 科目または国際コース科目とそれに対応する日本語科目の複数を修得した場合、最初に取得した科目のみ正規単位、次に履修した科目は増加単位とする。正規単位が卒業に必要な単位として認定されるかは工学部要覧で確認すること。同じ学期に日本語と英語（E2 科目・国際コース科目）で同一内容の科目を修得した場合、成績の良い方のみを正規単位として認定する。同点の場合は E2 科目または国際コース科目を正規単位として認定する。
------	-----------------------	---

【平成 29 年度～令和 4 年度入学者】

人文・社会科学科目群	12 単位以上 16 単位まで	
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。

外国語科目群	16 単位以上 20 単位まで	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（日本語上級から修得すること※）のうちから 1 か国語 8 単位以上 12 単位まで、計 16 単位以上 20 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。 ※入学時のプレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級の履修を認めることがある。
情報学科目群	4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	4 単位まで	4 単位まで卒業に必要な単位として認めるが、「スポーツ実習」分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群	4 単位まで	「コンプライアンス」分野（令和 6 年度開講科目なし）及び「国際コミュニケーション」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。 ※上記の他、「その他キャリア形成」分野の科目のうち「起業と事業創造」を令和 5 年度開講分より卒業に必要な単位として認定する。 令和 4 年度以前入学者は同一科目を修得していない場合に限り、卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群	4 単位まで	「統合科学」分野及び「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	68 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位含むこと	令和 3 年度以降入学者： E 科目から 4 単位含むこと。ただし、E2 科目から認められるのは自然科学科目群および情報学科目群を除く 2 単位まで。詳細は工学部履修要覧を確認すること。 「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」を付された E2 科目または国際コース科目とそれに対応する日本語科目の複数を修得した場合、最初に取得した科目のみ正規単位、次に履修した科目は増加単位とする。正規単位が卒業に必要な単位として認定されるかは工学部要覧で確認すること。同じ学期に日本語と英語（E2 科目・国際コース科目）で同一内容の科目を修得した場合、成績の良い方のみを正規単位として認定する。同点の場合は E2 科目または国際コース科目を正規単位として認定する。 令和 2 年度入学者： E 科目から 4 単位含むこと。ただし、E2 科目から卒業に必要な単位として認められるのは 2 単位までであり、「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」を付された E2 科目または国際コース科目とそれに対応する日本語科目の複数を修得した場合、最初に取得した科目のみ正規単位、次に履修した科目は増加単位とする。正規単位が卒業に必要な単位として認定されるかは工学部要覧で確認すること。同じ学期に日本語と英語（E2 科目・国際コース科目）で同一内容の科目を修得した場合、成績の良い方のみを正規単位として認定する。同点の場合は E2 科目または国際コース科目を正規単位として認定する。
------	-----------------------	---

		<p>平成 31 年度入学者： E 科目から 4 単位含むこと。ただし、E2 科目の単位を上記 68 単位に含める場合は学科長の承認が必要である（承認されるのは 2 単位までであり、E2 科目とそれに対応する日本語科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。同じ学期に E2 科目とそれに対応する日本語科目の両方を修得した場合、成績の良い方のみを卒業に必要な単位として認定する。同点の場合は E2 科目を卒業に必要な単位として認定する。）。</p> <p>平成 29, 30 年度入学者： E 科目から 4 単位含むこと。ただし、E2 科目からは 2 単位まで含むことを認める。人文・社会科学科目群の「外国文献研究（全・英）-E1」及びキャリア形成科目群の「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から計 4 単位含めることを強く推奨する。</p>
--	--	--

【平成 28 年度入学者】

人文・社会科学科目群	16 単位以上 20 単位まで	「外国文献研究（全・英）-E1」を 2 単位以上、計 4 単位まで含むこと。
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上 20 単位まで	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（日本語中級、日本語上級から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上 12 単位まで、計 16 単位以上 20 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	4 単位まで	
キャリア形成科目群	4 単位まで	「コンプライアンス」分野（令和 6 年度開講科目なし）及び「国際コミュニケーション」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。 ※上記の他、「その他キャリア形成」分野の科目のうち「起業と事業創造」を令和 5 年度開講分より卒業に必要な単位として認定する。令和 4 年度以前入学者は同一科目を修得していない場合に限り、卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群	4 単位まで	「統合科学」分野及び「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	68 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	人文・社会科学科目群の「外国文献研究（全・英）-E1」及びキャリア形成科目群の「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から計 4 単位以上含めなければならない。ただし、「外国文献研究（全・英）-E1」から 2 単位以上含むこと。
------	-------------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

（令和 2 年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

(平成 31 年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 1 回生では 34 単位、2 回生以上では 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。
- (2) 自然科学科目群について
学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

【国際コース生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

国際コースについては、英語で提供される科目のみ卒業に必要な単位として認定する。ただし、「スポーツ実習」分野の科目、初修外国語科目を除く。

人文・社会科学科目群	12 単位以上 16 単位まで	「外国文献研究」分野の E1 科目を除く。
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。 なお、同一科目名の E2 科目は卒業に必要な単位として認定しない。
外国語科目群	18 単位以上 20 単位まで	英語 8 単位 (「Scientific English IA・IB」各 4 単位計 8 単位を修得すること)、英語以外の外国語 (初修外国語) から 10 単位以上、計 18 単位以上 20 単位までを卒業に必要な単位として認める。 日本語を母国語とする学生は、初修外国語としてドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語から 10 単位以上修得すること。 日本語を母国語としない学生は、初修外国語として日本語から 10 単位以上修得すること。ただし、日本語を母国語としない学生で日本語能力試験の N1 を保持する者に限り、初修外国語 10 単位のうち、母国語以外のドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語の単位を 6 単位まで、日本語の単位に読み替えることができる。
情報学科目群	4 単位まで	「Basic Informatics」、「Practice of Basic Informatics」のみ卒業に必要な単位として認める。なお、「Basic Informatics-E2」、「Practice of Basic Informatics-E2」は卒業に必要な単位として認定しない。
健康・スポーツ科目群	4 単位まで	平成 29 年度以降入学者は、「スポーツ実習」分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群	令和 2 年度以降入学者 : 2 単位以上 4 単位まで 平成 31 年度以前入学者 : 4 単位以上 8 単位まで	令和 2 年度以降入学者 : 「Scientific English II-E3」(2 単位)、「Advanced Scientific English-E3」(2 単位) から 2 単位以上 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。 平成 31 年度以前入学者 : 「Scientific English II-E3」(2 単位※)、「Advanced Scientific English-E3」(2 単位※) から 4 単位以上 8 単位までを卒業に必要な単位として認める。 ※令和 2 年度までは 4 単位
統合科学科目群	4 単位まで	「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	68 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 令和2年度以降入学者：2単位以上 平成31年度以前入学者：4単位以上 を含むこと	令和2年度以降入学者： キャリア形成科目群の国際コミュニケーション分野のE3科目「Scientific English II-E3」(2単位)、「Advanced Scientific English-E3」(2単位)から2単位以上含めなければならない。 平成31年度以前入学者： キャリア形成科目群の国際コミュニケーション分野のE3科目「Scientific English II-E3」(2単位※)、「Advanced Scientific English-E3」(2単位※)から4単位以上含めなければならない。 ※令和2年度までは4単位
------	---	---

2. 履修登録単位数の上限について

(令和2年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

(平成31年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき1回生では34単位、2回生以上では30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T(工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然科学科目群について

学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	12単位以上 16単位まで	「外国文献研究」分野のE1科目を除く。
自然科学科目群	28単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計28単位以上修得すること。
外国語科目群	18単位以上 20単位まで	英語8単位(「Scientific English IA・IB」各4単位計8単位を修得すること)、日本語から10単位以上、計18単位以上20単位までを卒業に必要な単位として認める。 ただし、日本語能力試験のN1を保持する者に限り、日本語10単位のうち、母国語以外のドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語の単位を6単位まで、日本語の単位に読み替えることができる。
情報学科目群	4単位まで	「Basic Informatics」、「Practice of Basic Informatics」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	4単位まで	「スポーツ実習」分野の科目については、2単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群	令和2年度以降入学者： 2単位以上 4単位まで	令和2年度以降入学者： 「Scientific English II-E3」(2単位)、「Advanced Scientific English-E3」(2単位)から2単位以上4単位までを卒業に必要な単位として認める。

	平成 31 年度入学者： 4 単位以上 8 単位まで	平成 31 年度入学者： 「Scientific English II-E3」(2 単位※)、「Advanced Scientific English-E3」 (2 単位※) から 4 単位以上 8 単位までを卒業に必要な単位として認 める。 ※令和 2 年度までは 4 単位
統合科学科目群	4 単位まで	「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	68 単位以上	

E 科目		<p>令和 3 年度以降入学者： キャリア形成科目群の国際コミュニケーション分野の E3 科目 「Scientific English II-E3」(2 単位)、「Advanced Scientific English-E3」 (2 単位) から 2 単位以上含めなければならない。 「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」を付された E2 科目 または国際コース科目とそれに対応する日本語科目の複数を修得した 場合、最初に取得した科目のみ正規単位、次に履修した科目は増加単 位とする。正規単位が卒業に必要な単位として認定されるかは工学部 要覧で確認すること。同じ学期に日本語と英語 (E2 科目・国際コース 科目) で同一内容の科目を修得した場合、成績の良い方のみを正規単 位として認定する。同点の場合は E2 科目または国際コース科目を正規 単位として認定する。</p> <p>ただし、自然科学科目群の E2 科目は工学部履修要覧の『表 6 (土木工 学コース)、表 7 (資源工学コース)、表 8 (環境工学コース)』で指定 する科目のみ卒業に必要な単位として認める。</p>
	<p>上記の単位数のうち 令和 2 年度以降入学者： 2 単位以上 平成 31 年度以前入学 者：4 単位以上 含むこと</p>	<p>令和 2 年度入学者： キャリア形成科目群の国際コミュニケーション分野の E3 科目 「Scientific English II-E3」(2 単位)、「Advanced Scientific English-E3」 (2 単位) から 2 単位以上含めなければならない。 「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」を付された E2 科目 または国際コース科目とそれに対応する日本語科目の複数を修得した 場合、最初に取得した科目のみ正規単位、次に履修した科目は増加単 位とする。正規単位が卒業に必要な単位として認定されるかは工学部 要覧で確認すること。同じ学期に日本語と英語 (E2 科目・国際コース 科目) で同一内容の科目を修得した場合、成績の良い方のみを正規単 位として認定する。同点の場合は E2 科目または国際コース科目を正規 単位として認定する。</p> <p>平成 31 年度入学者： キャリア形成科目群の国際コミュニケーション分野の E3 科目 「Scientific English II-E3」(2 単位※)、「Advanced Scientific English-E3」 (2 単位※) から 4 単位以上含めなければならない。 ※令和 2 年度までは 4 単位</p> <p>E2 科目または国際コース科目の単位を上記 68 単位に含める場合は学 科長の承認が必要である (E2 科目または国際コース科目とそれに対応 する日本語科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒 業に必要な単位として認定する。同じ学期に E2 科目または国際コース 科目とそれに対応する日本語科目の両方を修得した場合、成績の良い 方のみを卒業に必要な単位として認定する。同点の場合は E2 科目また は国際コース科目を卒業に必要な単位として認定する。)</p>

2. 履修登録単位数の上限について

(令和2年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

(平成31年度入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T(工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。
- (2) 自然科学科目群について
学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。
- (3) 情報学科目群について
E2科目は卒業に必要な単位として認めません。

工 学 部 <建築学科>

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

【令和3年度以降入学者】

人文・社会科学科目群	14 単位	E1 科目以外。
	2～4 単位	E1 科目「外国文献研究（全・英）-E1」。
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目。
外国語科目群	英語	8 単位 「英語リーディング」4 単位、 「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位。
	ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、*日本語	同一外国語 8 単位以上 *日本語は外国人留学生のみ選択可。（上級科目のみを卒業に必要な単位として認定するが、プレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級科目を卒業に必要な単位として認定することがある。）
情報学科目群	4 単位	工学部履修要覧で指定する科目。
	0～2 単位	上記科目以外。
健康・スポーツ科目群	0～4 単位	「スポーツ実習」分野は 2 単位まで。
キャリア形成科目群	0～2 単位	
統合科学科目群	0～2 単位	
少人数教育科目群	0～2 単位	
合計	66 単位以上	

E 科目 上記の単位数のうち右記 ①+②で、E 科目を 4 単位 含むこと	①	2 単位	人文・社会科学科目群の E1 科目「外国文献研究（全・英）-E1」
	②	2 単位	以下①～⑤のいずれか 2 単位。（②または③を推奨する。） ①人文・社会科学科目群の E1 科目「外国文献研究（全・英）-E1」 ②人文・社会科学科目群「Contemporary Japanese Architecture-E2」 ③人文・社会科学科目群「Theory of Landscape Design-E2: House and Gardens of Kyoto」 ④キャリア形成科目群「国際コミュニケーション」分野の E3 科目 ⑤自然科学科目群のうち工学部履修要覧で指定する E2 科目

【平成 31 年度、令和 2 年度入学者】

人文・社会科学科目群	14 単位	E1 科目以外。		
	2～4 単位	E1 科目「外国文献研究（全・英）-E1」。		
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目。		
外国語科目群	英語	8 単位 「英語リーディング」4 単位、 「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位。		
	ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、*日本語	同一外国語 8 単位以上 *日本語は外国人留学生のみ選択可。（上級科目のみを卒業に必要な単位として認定するが、プレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級科目を卒業に必要な単位として認定することがある。）		
情報学科目群	「情報基礎[工学部]」または「Basic Informatics」	①	左記 2 科目を含む 4 単位以上	①の科目群・分野では、合わせて 8 単位までを、卒業に必要な単位として認定する。ただし、「情報学科目群」を 4 単位以上含むこと。
	「情報基礎演習[工学部]」または「Practice of Basic Informatics」			
健康・スポーツ科目群	「健康・スポーツ科学」分野	①	2 単位まで	*キャリア形成科目群の E 科目の卒業要件については E 科目欄を参照。
	「スポーツ実習」分野			

キャリア形成科目群	「コンプライアンス」分野（令和6年度開講科目なし）	④	
	「国際コミュニケーション」分野		E3科目2単位 合計4単位まで
統合科学科目群	「統合科学」分野 「環境」分野	④	
少人数教育科目群			2単位まで
合計			66単位以上

E科目	4単位以上	<p>各科目群のE科目は、1)～4)のいずれかの組み合わせで4単位以上修得すること。なお、専門科目の関連から、1)の組み合わせを推奨する。</p> <p>1) 人文・社会科学科目群のE1科目「外国文献研究(全・英)-E1」2単位と、人文・社会科学科目群のE2科目のうち、以下に指定する科目を2単位以上。 「Theory of Landscape Design-E2: House and Gardens of Kyoto」 「Contemporary Japanese Architecture-E2」</p> <p>2) 人文・社会科学科目群のE1科目「外国文献研究(全・英)-E1」4単位。</p> <p>3) 人文・社会科学科目群のE1科目「外国文献研究(全・英)-E1」2単位と、キャリア形成科目群「国際コミュニケーション」分野のE3科目から2単位。</p> <p>4) 人文・社会科学科目群のE1科目「外国文献研究(全・英)-E1」2単位と、自然科学科目群のうち工学部履修要覧で指定するE2科目から2単位。</p>
-----	-------	--

【平成30年度以前入学者】

人文・社会科学科目群	16単位以上	<ul style="list-style-type: none"> ・E1科目以外で14単位を修得すること。このとき、三つ以上の分野からそれぞれ2単位以上修得することが望ましい。 ・「外国文献研究(全・英)-E1」のE1科目を2単位以上修得すること。
自然科学科目群	28単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計28単位以上修得すること。
外国語科目群	16単位以上	英語8単位（「英語リーディング」計4単位、「英語ライティング・リスニングA・B」各2単位計4単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（平成28年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成29年度以降入学者は日本語上級から修得すること）のうちから1か国語8単位以上、計16単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	4単位以上 8単位まで	計4単位以上修得すること。「情報基礎[工学部]」（または「Basic Informatics」）、及び「情報基礎演習[工学部]」（または「Practice of Basic Informatics」）計4単位を修得することが望ましい。
健康・スポーツ科目群 「健康・スポーツ科学」分野		
キャリア形成科目群 「コンプライアンス」分野 (令和6年度開講科目なし)		
統合科学科目群		「統合科学」分野及び「環境」分野のみ卒業に必要な単位として認める。

健康・スポーツ科目群 「スポーツ実習」分野	平成29, 30年度入学者： 2単位まで 平成28年度入学者： 4単位まで	
キャリア形成科目群 「国際コミュニケーション」分野	4単位まで	ただし、E3科目から2単位まで、E3科目以外から2単位まで卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群	2単位まで	
合計	66単位以上	

E科目	上記の単位数のうち 4単位以上含むこと	<p>1) ~ 3) のいずれかの組み合わせで修得すること。 なお、専門科目の関連から、1) の組み合わせを推奨する。</p> <p>1) 人文・社会科学科目群のE1科目「外国文献研究(全・英)-E1」から2単位以上と、人文・社会科学科目群のE2科目のうち、以下に指定する科目を2単位以上。 「Theory of Landscape Design-E2 :House and Gardens of Kyoto」 「Contemporary Japanese Architecture-E2」</p> <p>2) 人文・社会科学科目群のE1科目「外国文献研究(全・英)-E1」から4単位以上。</p> <p>3) 人文・社会科学科目群のE1科目「外国文献研究(全・英)-E1」から2単位以上と、キャリア形成科目群「国際コミュニケーション」分野のE3科目から2単位。</p>
-----	------------------------	---

2. 履修登録単位数の上限について

(令和2年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

(平成31年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき1回生では34単位、2回生以上では30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T(工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。
- (2) 「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」の付された科目について、E2科目と日本語科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定します。同じ学期にE2科目・日本語科目の両方を修得した場合、日本語科目のみ卒業に必要な単位として認定します。卒業に必要な単位として認定されない場合、E科目の単位としても認定されません。
「情報基礎(工学部)」、「情報基礎演習(工学部)」のE2科目は、卒業に必要な単位として認定はしますが、E科目としては認定しません。
- (3) 工学部地球工学科国際コースの科目は、学科が指定している科目(工学部履修要覧参照)のみ卒業に必要な単位として認定します。
- (4) 自然科学科目群について
学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

【令和3年度以降入学者】

人文・社会科学科目群		14 単位	E1 科目以外。 *外国語科目群日本語科目の修得単位を人文・社会科学科目群の卒業に必要な単位数に認めることがある。
		2～4 単位	E1 科目「外国文献研究（全・英）-E1」。
自然科学科目群		28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目。
外国語科目群	英語	8 単位	「英語リーディング」4 単位、 「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位。
	ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、*日本語	同一外国語 8 単位以上	*日本語は上級科目のみを認定するが、プレースメントテストの結果等により、学科長が個別に中級科目を卒業に必要な単位として認定することがある。 なお、初修外国語 1 か国語 8 単位以上に、日本語科目の修得単位を加えて、合計 20 単位までを卒業に必要な単位として認めることがある。
情報科学科目群		4 単位	工学部履修要覧で指定する科目。
		0～2 単位	上記科目以外。
健康・スポーツ科目群		0～4 単位	「スポーツ実習」分野は 2 単位まで。
キャリア形成科目群		0～2 単位	
統合科学科目群		0～2 単位	
少人数教育科目群		0～2 単位	
合計		66 単位以上	

E 科目 上記の単位数のうち右記 ①+②で、E 科目を 4 単位 含むこと	①	2 単位	人文・社会科学科目群の E1 科目「外国文献研究（全・英）-E1」
	②	2 単位	以下①～⑤のいずれか 2 単位。（②または③を推奨する。） ①人文・社会科学科目群の E1 科目「外国文献研究（全・英）-E1」 ②人文・社会科学科目群「Contemporary Japanese Architecture-E2」 ③人文・社会科学科目群「Theory of Landscape Design-E2: House and Gardens of Kyoto」 ④キャリア形成科目群「国際コミュニケーション」分野の E3 科目 ⑤自然科学科目群のうち工学部履修要覧で指定する E2 科目

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T（工学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。
- (2) 「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」の付された科目について、E2 科目または地球工学科国際コース科目と日本語科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみ卒業に必要な単位として認定します。同じ学期に E2 科目または地球工学科国際コース科目と日本語科目の両方を修得した場合、日本語科目のみ卒業に必要な単位として認定します。卒業に必要な単位として認定されない場合、E 科目の単位としても認定されません。
- (3) 工学部地球工学科国際コースの科目は、学科が指定している科目（工学部履修要覧参照）のみ卒業に必要な単位として認定します。

(4) 自然科学科目群について

学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

工 学 部 <物理工学科>

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上 20 単位まで	・E1 科目以外から 16 単位修得すること。 ・「外国文献研究 (全・英) -E1」から 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群	30 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 30 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位	英語 8 単位 (「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること) に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語 (平成 28 年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成 29 年度以降入学者は日本語上級から修得すること) のうちから 1 か国語 8 単位、計 16 単位修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	4 単位まで	平成 29 年度以降入学者は、「スポーツ実習」分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群 「コンプライアンス」分野 (令和 6 年度開講科目なし)、 「国際コミュニケーション」分野 (E3 科目を除く)		
統合科学科目群 「統合科学」分野、 「環境」分野、 「その他統合科学」分野		
少人数教育科目群		
キャリア形成科目群 「国際コミュニケーション」分野 (E3 科目)		
合計	66 単位以上	

E 科目	上記単位数のうち 4 単位含むこと	人文・社会科学科目群の「外国文献研究 (全・英) -E1」及びキャリア形成科目群の「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から計 4 単位含めなければならない。なお、計 4 単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位としては認めない。
------	----------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

(令和 2 年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

(平成 31 年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 1 回生では 34 単位、2 回生以上では 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録

してください。

(2) 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) 科目 (平成 29 年度より廃止) は、人文・社会科学科目群 (6 単位まで) 及び自然科学科目群 (4 単位まで) のみ卒業に必要な単位として認定します。(平成 28 年度入学者のみ該当)

(3) 自然科学科目群について

学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

(4) E2 科目について

日本語、英語 (E2 科目) の両方で開講される全学共通科目を、どちらも修得した場合の単位認定の取り扱いについては、物理工学科では先に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定します。同学期に修得した場合は、成績の良い方を卒業に必要な単位として認定します。自然科学科目群で卒業に必要な単位として認定される E2 科目については、平成 31 年度以降入学者は工学部履修要覧を参照してください。平成 30 年度以前の入学者は物理工学科事務室にお問い合わせください。

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上 20 単位まで	・ E1 科目以外から 16 単位修得すること。 ・ 「外国文献研究 (全・英) -E1」 から 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群	30 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 30 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位	英語 8 単位 (「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること) に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語 (日本語上級から修得すること) のうちから 1 か国語 8 単位、計 16 単位修得すること。
情報学科目群	4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」、「情報基礎演習 [工学部]」、「Basic Informatics」、及び「Practice of Basic Informatics」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	4 単位まで	「スポーツ実習」分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群 「コンプライアンス」分野 (令和 6 年度開講科目なし)、 「国際コミュニケーション」分野 (E3 科目を除く)		
統合科学科目群 「統合科学」分野、 「環境」分野、 「その他統合科学」分野		
少人数教育科目群		
キャリア形成科目群 「国際コミュニケーション」分野 (E3 科目)	4 単位まで	
合計	66 単位以上	

E 科目	上記単位数のうち 4 単位含むこと	人文・社会科学科目群の「外国文献研究 (全・英) -E1」及びキャリア形成科目群の「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から計 4 単位含めなければならない。なお、計 4 単位を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位としては認めない。
------	----------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

3. 指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T(工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然科学科目群について

学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

(3) E2科目について

日本語、英語(E2科目)の両方で開講される全学共通科目を、どちらも修得した場合の単位認定の取り扱いについては、物理工学科では先に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定します。同学期に修得した場合は、成績の良い方を卒業に必要な単位として認定します。自然科学科目群で卒業に必要な単位として認定されるE2科目については、工学部履修要覧を参照してください。

「情報基礎(工学部)」、「情報基礎演習(工学部)」のE2科目は、卒業要件として認めません。

これらの科目を英語で履修する場合は、地球工学科国際コースにて開講している科目を履修してください。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上 20 単位まで	E1 科目以外から 16 単位（うち 2 単位は統合科学科目群の「統合科学」分野の科目で代替可能。）修得すること。これに加えて「外国文献研究（全・英）-E1」から 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。	
自然科学科目群	30 単位以上 42 単位まで	工学部履修要覧で指定する科目から計 30 単位以上 40 単位まで修得すること。（うち 2 単位までは工学部履修要覧の指定科目以外の科目でもよい。）これに加えて、E2 科目「Fundamental Physics B-E2」（担当教員 DE ZOYSA, Menaka）2 単位を修得してもよい。	
外国語科目群	英語	8 単位	「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること
	ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語	同一外国語 8 単位を含む 16 単位まで	日本語は外国人留学生のみ選択することができる。（平成 28 年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成 29 年度以降入学者は日本語上級から修得すること※） ※入学時のプレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級の履修を認めることがある。
情報学科目群	2 単位以上 4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。	
健康・スポーツ科目群	平成 29 年度以降入学者： 2 単位まで、 平成 28 年度入学者： 4 単位まで	「スポーツ実習」分野のみ卒業に必要な単位として認める。	
キャリア形成科目群	4 単位まで	「コンプライアンス」分野（令和 6 年度開講科目なし）から 2 単位まで、「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から 2 単位まで、計 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。	
少人数教育科目群	2 単位まで		
合計	68 単位以上 78 単位まで		

E 科目	上記単位数のうち 4 単位含むこと	（平成 31 年度以降入学） 人文・社会科学科目群の E1 科目「外国文献研究（全・英）-E1」及び E2 科目、自然科学科目群の E2 科目「Fundamental Physics B-E2」（担当教員 DE ZOYSA, Menaka）及び工学部履修要覧で指定する E2 科目、並びにキャリア形成科目群の「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から計 4 単位以上含めなければならない。 （平成 28 年度入学～平成 30 年度入学） 人文・社会科学科目群の E1 科目「外国文献研究（全・英）-E1」、自然科学科目群の E2 科目「Fundamental Physics B-E2」（担当教員 DE ZOYSA, Menaka）、及びキャリア形成科目群の「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から計 4 単位含めなければならない。
------	----------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

（令和 2 年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

(平成 31 年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 1 回生では 34 単位、2 回生以上では 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。
- (2) 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) 科目 (平成 29 年度より廃止) は、人文・社会科学科目群のみ 2 科目 4 単位までを卒業に必要な単位として認定します。(平成 28 年度入学者のみ該当)
- (3) 工学部地球工学科国際コースの科目は卒業に必要な単位として認定しません。ただし、外国人留学生については認めることがありますので、学科長に相談してください。
- (4) 自然科学科目群について
学科が指定する自然科学科目群の科目及び E2 科目は工学部履修要覧を参照してください。
- (5) 外国語科目群について
ロシア語、イタリア語、朝鮮語、アラビア語は、開講時間が学科専門科目と重なる場合があるので注意してください。(クラス別時間割 (学部 1 回生) ページも確認してください。)
- (6) 「全学共通科目一覧」の「英語授業の有無」欄に○が付された科目について、日本語科目と英語科目の重複履修は認めません。

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	12 単位以上 20 単位まで	12 単位 (うち 2 単位は統合科学科目群の「統合科学」分野の科目で代替可能。) 修得すること。
自然科学科目群	30 単位以上 40 単位まで	工学部履修要覧で指定する科目から計 30 単位以上 40 単位まで修得すること。(うち 2 単位までは工学部履修要覧の指定科目以外の科目でもよい。)
外国語科目群	英語	8 単位 「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること。
	日本語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語	同一外国語 8 単位を含み 20 単位まで 日本語を選択する場合は、日本語上級から修得すること。 ※入学時のプレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級の履修を認めることがある。 また、同一外国語 8 単位に加えて、さらに日本語科目の修得単位を卒業に必要な単位として 12 単位まで認めることがある。
情報学科目群	2 単位以上 4 単位まで	「情報基礎 [工学部]」、「情報基礎演習 [工学部]」、「Basic Informatics」、「Practice of Basic Informatics」、「Basic Informatics-E2」、「Practice of Basic Informatics-E2」を卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	2 単位まで	「スポーツ実習」分野のみ卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群	4 単位まで	「コンプライアンス」分野 (令和 6 年度開講科目なし) から 2 単位まで、「国際コミュニケーション」分野の E3 科目から 2 単位まで、計 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。

少人数教育科目群	2 単位まで	
合計	68 単位以上 78 単位まで	

2. 履修登録単位数の上限について

(令和2年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T(工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。
- (2) 工学部地球工学科国際コースの科目は、学科が指定している科目(工学部履修要覧参照)に対応する英語科目のみ卒業に必要な単位として認定します。
- (3) 自然科学科目群について
学科が指定する自然科学科目群の科目(E2科目含む)は工学部履修要覧を参照してください。
- (4) 外国語科目群について
 - ・英語の能力によっては日本語科目の修得単位を英語科目の単位として認める場合があります。
 - ・ロシア語、イタリア語、朝鮮語、アラビア語は、開講時間が学科専門科目と重なる場合があるので注意してください。(クラス別時間割(学部1回生)ページも確認してください。)
- (5) 「全学共通科目一覧」の「英語授業の有無」欄に○が付された科目について、日本語科目と英語科目の重複履修は認めません。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16単位	E1科目以外から16単位修得すること。
	4単位まで	E1科目から4単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群	28単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計28単位以上修得すること。
外国語科目群	16単位	英語8単位（「英語リーディング」計4単位、「英語ライティング・リスニングA・B」各2単位計4単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（平成28年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成29年度以降入学者は日本語上級から修得すること※）のうちから1か国語8単位、計16単位修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。 ※入学時のプレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級の履修を認めることがある。
情報学科目群	4単位まで	「情報基礎 [工学部]」及び「情報基礎演習 [工学部]」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	8単位まで	「スポーツ実習」分野の科目のみ、平成29年度以降入学者は2単位まで、平成28年度入学者は4単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群		（令和4年度以前入学者）E科目のみ卒業に必要な単位として認める。 （令和5年度以降入学者）E科目及び工学部履修要覧で指定する科目のみ卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群		2単位まで卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群		2単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	令和2年度以降入学者：67単位以上 平成31年度以前入学者：71単位以上	

E科目	上記の単位数のうち4単位以上含むこと	科目群を問わず計4単位以上を含めなければならない。うち2単位はE2に指定されている科目を含むことを推奨する。
-----	--------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

（令和2年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

（平成31年度以前入学者）

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1学期につき1回生では34単位、2回生以上では30単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の2分の1が1学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。
- (2) 京都大学国際教育プログラム (KUINEP) 科目 (平成29年度より廃止) は、1科目2単位までを卒業に必要な単位

として認定します。(平成 28 年度入学者のみ該当)

(3) 工学部地球工学科国際コースの科目は卒業に必要な単位として認定しません。

(4) 自然科学科目群について

学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位	E1 科目以外から 16 単位修得すること。
	4 単位まで	E1 科目から 4 単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群	28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（日本語上級から修得すること※）のうちから 1 か国語 8 単位、計 16 単位修得すること。 ※入学時のプレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級の履修を認めることがある。
情報学科目群	4 単位まで	「情報基礎[工学部]」、「情報基礎演習[工学部]」、「Basic Informatics」、及び「Practice of Basic Informatics」のみ卒業に必要な単位として認める。
健康・スポーツ科目群	8 単位まで	「スポーツ実習」分野の科目のみ、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群		(令和 4 年度以前入学者) E 科目のみ卒業に必要な単位として認める。 (令和 5 年度以降入学者) E 科目及び工学部履修要覧で指定する科目のみ卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群		2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
少人数教育科目群		2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	令和 2 年度以降入学者：67 単位以上 平成 31 年度以前入学者：71 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位以上含むこと	科目群を問わず計 4 単位以上を含めなければならない。うち 2 単位は E2 に指定されている科目を含むことを推奨する。
------	----------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

(令和 2 年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

(平成 31 年度入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

(1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T (工学部)』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録

してください。

(2) 自然科学科目群について

学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。学科が指定する科目及び工学部地球工学科国際コースの科目を卒業要件として認定します。

(3) 情報学科目群について

工学部地球工学科国際コースの科目を卒業要件として認定します。

(4) 学科長の判断で、外国語科目群の日本語を英語に最大 8 単位読み替えることがあります。また、外国語科目群の卒業に必要な単位(卒業要件)として日本語を最大 20 単位まで(英語に読み替えた単位を除く)認めることがあります。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	14 単位以上	21 単位以上 26 単位まで	
情報学科目群	2 単位以上 8 単位まで		計算機科学コースでは必修科目 2 単位を含むこと。ただし、令和 5 年度以降入学者は、「情報基礎」、「情報基礎演習」は除く。
健康・スポーツ科目群			平成 29 年度以降入学者は、「スポーツ実習」分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群			「コンプライアンス」分野（令和 6 年度開講科目なし）及び「国際コミュニケーション」分野のみ卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群			
少人数教育科目群			日本語で実施される「ILAS セミナー」は、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群	28 単位以上		工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位		英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティングーリスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（平成 28 年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成 29 年度以降入学者は日本語上級から修得すること※）のうちから 1 か国語 8 単位、計 16 単位修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。 ※入学時のプレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級の履修を認めることがある。
合計	65 単位以上		

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位含むこと	人文・社会科学科目群の「外国文献研究（全・英）-E1」及び情報学科目群の E2 に指定されている科目から計 4 単位を含めなければならない。
------	-----------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

（令和 2 年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

（平成 31 年度以前入学者）

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 1 回生では 34 単位、2 回生以上では 30 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T（工学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。

(2) 自然科学科目群について

学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。

- (3) 「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」の付された科目について E2 科目と日本語科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定します。同じ学期に内容が同一とみなされる E2 科目・日本語科目を両方修得した場合、E2 科目を卒業に必要な単位として認定します。ただし「Information and Society-E2」は増加単位としてのみ認めます。

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

【令和 6 年度以降入学者】

人文・社会科学科目群	14 単位以上	21 単位以上 26 単位まで	人文・社会科学科目群の Kyoto iUP 生専用科目（令和 6 年度不開講）は 2 単位まで認める。
情報学科目群	2 単位以上 8 単位まで		計算機科学コースでは必修科目 2 単位を含むこと。
健康・スポーツ科目群			「スポーツ実習」分野の科目については、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群			「コンプライアンス」分野（令和 6 年度開講科目なし）及び「国際コミュニケーション」分野のみ卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群			
少人数教育科目群			日本語で実施される「ILAS セミナー」は、2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群		28 単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計 28 単位以上修得すること。
外国語科目群		16 単位	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位、計 16 単位修得すること。英語の能力によっては日本語の修得単位を英語の単位として読み替えることを認める場合がある。また、英語 8 単位（日本語を読み替えた単位を含む）、その他の同一外国語 8 単位に加えて、さらに日本語科目の修得単位を 12 単位まで卒業に必要な単位として認めることがある。 日本語は原則として上級科目のみを認定する。ただし入学時のプレースメントテストの結果等により、学科長が個別に日本語中級の履修を認めることがある。
合計		65 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位含むこと	人文・社会科学科目群の「外国文献研究（全・英）-E1」及び情報学科目群の E2 に指定されている科目から計 4 単位を含めなければならない。
------	-----------------------	--

【令和 4・5 年度入学者】

人文・社会科学科目群	14 単位以上	21 単位以上 26 単位まで	人文・社会科学科目群の Kyoto iUP 生専用科目（令和 6 年度不開講）は 2 単位まで認める。
情報学科目群	2 単位以上 8 単位まで		計算機科学コースでは必修科目 2 単位を含むこと。

健康・スポーツ科目群		「スポーツ実習」分野の科目については、2単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群		「コンプライアンス」分野（令和6年度開講科目なし）及び「国際コミュニケーション」分野のみ卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群		
少人数教育科目群		日本語で実施される「ILASセミナー」は、2単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群	28単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計28単位以上修得すること。
外国語科目群	16単位	英語8単位（「英語リーディング」計4単位、「英語ライティングーリスニングA・B」各2単位計4単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから1か国語8単位、計16単位修得すること。英語の能力によっては日本語の修得単位を英語の単位として読み替えることを認める場合がある。また、英語8単位（日本語を読み替えた単位を含む）、その他の同一外国語8単位に加えて、さらに日本語科目の修得単位を12単位まで卒業に必要な単位として認めることがある。日本語は原則として上級科目のみを認定する。
合計	65単位以上	

E科目	上記の単位数のうち4単位含むこと	人文・社会科学科目群の「外国文献研究（全・英）-E1」及び情報学科目群のE2に指定されている科目から計4単位を含めなければならない。
-----	------------------	--

【令和3年度以前入学者】

人文・社会科学科目群	14単位以上		外国語科目群日本語科目の修得科目を人文・社会科学科目群の卒業に必要な単位として13単位まで認める。また、人文・社会科学科目群のKyoto iUP生専用科目（令和6年度不開講）は2単位まで認める。
情報学科目群	2単位以上 8単位まで		計算機科学コースでは必修科目2単位を含むこと。
健康・スポーツ科目群		21単位以上 26単位まで	「スポーツ実習」分野の科目については、2単位まで卒業に必要な単位として認める。
キャリア形成科目群			「コンプライアンス」分野（令和6年度開講科目なし）及び「国際コミュニケーション」分野のみ卒業に必要な単位として認める。
統合科学科目群			
少人数教育科目群			日本語で実施される「ILASセミナー」は、2単位まで卒業に必要な単位として認める。
自然科学科目群		28単位以上	工学部履修要覧で指定する科目から計28単位以上修得すること。

外国語科目群	16 単位	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語のうちから 1 か国語 8 単位、計 16 単位修得すること。
合計	65 単位以上	

E 科目	上記の単位数のうち 4 単位含むこと	人文・社会科学科目群の「外国文献研究（全・英）-E1」及び情報学科目群の E2 に指定されている科目から計 4 単位を含めなければならない。
------	-----------------------	--

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、工学部履修要覧を参照してください。

3. 指示事項

- (1) 全学共通科目のうち、「全学共通科目授業一覧」の「学部科目」欄が『T（工学部）』となっている科目を履修する場合、学部科目として認定しますので全学共通科目として履修登録することはできません。学部科目として履修登録してください。
- (2) 自然科学科目群について
学科が指定する自然科学科目群の科目は工学部履修要覧を参照してください。
- (3) 「全学共通科目一覧」の英語授業の有無欄に「○」の付された科目について E2 科目と日本語科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定します。同じ学期に内容が同一とみなされる E2 科目・日本語科目を両方修得した場合、E2 科目を卒業に必要な単位として認定します。ただし「Information and Society-E2」は増加単位としてのみ認めます。
- (4) 工学部地球工学科国際コースの科目は、学科が指定している科目（工学部履修要覧参照）に対応する科目のみ卒業に必要な単位として認定します。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上	
自然科学科目群	16 単位以上	下表①で推薦する科目から計 8 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（平成 28 年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成 29 年度以降入学者は日本語上級から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	8 単位以上	下表②で推薦する情報基礎及び情報基礎演習を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「統合科学」分野の科目は複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは 1 科目のみである。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	各科目群に課される要件を最小単位数で満たすと 56 単位となるが、卒業までに修得すべき全学共通科目の最小単位数 60 単位に不足する 4 単位については、卒業に必要な単位であれば科目群を問わない。ただし、卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は、平成 31 年度以降入学者は合計 4 単位以上、平成 28～30 年度入学者は合計 8 単位以上修得すること。 なお、(1) 2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目、(2) 1 科目を超えて後に修得した統合科学科目群の統合科学分野の E 科目は、卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認める。それ以外の E 科目は、卒業に必要な単位としても認める。
------	---

2. 履修登録単位数の上限について

(令和 2 年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、農学部学生便覧を参照してください。

(平成 31 年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

① 自然科学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学（講義・演義）A	3	無機化学入門 A	2
微分積分学（講義・演義）B	3	無機化学入門 B	2
線形代数学（講義・演義）A	3	基礎有機化学 I	2
線形代数学（講義・演義）B	3	基礎有機化学 II	2
物理学基礎論 A ※1	2	個体と集団の基礎生物学	2
物理学基礎論 B ※1	2	基礎化学実験	2
基礎物理化学（熱力学）	2	遺伝学概論	2
基礎物理化学（量子論）	2	生物学実習 I ※3	2

統計入門 ※2	2	
---------	---	--

※1 令和4年度以降入学者については、入学試験の一般選抜の個別学力検査で物理を選択しなかった者、または特色入試による入学者で、大学入学共通テストで物理を選択しなかった者に限り、「初修物理学 A・B」で代えることができる。

※2 平成28～令和3年度入学者については、履修しても学科が推薦する科目とは認められず、学科推薦のない、他の自然科学科目群の科目と同じ扱いとなるので注意すること。

※3 平成28～29年度入学者については、履修しても学科が推薦する科目とは認められず、学科推薦のない、他の自然科学科目群の科目と同じ扱いとなるので注意すること。

※4 上記推薦科目に対応する英語授業のE2科目（「Ⅲ. 2. 全学共通科目一覧」参照）は自然科学科目群及びE科目の卒業単位となるが推薦科目の卒業単位とはならない。

② 情報学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部]	2

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上	外国語科目群日本語科目の修得単位を人文・社会科学科目群の卒業に必要な単位に認めることがある。
自然科学科目群	16 単位以上	下表①で推薦する科目から計 8 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（日本語中級以上から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。ただし、母語の科目は外国語科目に含まれない。なお、英語 8 単位は、日本語科目の読み替えにより満たす場合がある。
情報学科目群	8 単位以上	下表②で推薦する情報基礎及び情報基礎演習を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「統合科学」分野の科目は複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは 1 科目のみである。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	各科目群に課される要件を最小単位数で満たすと 56 単位となるが、卒業までに修得すべき全学共通科目の最小単位数 60 単位に不足する 4 単位については、卒業に必要な単位であれば科目群を問わない。ただし、E 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の取り扱いについては下記を参照のこと。

E 科目	E 科目の卒業に必要な単位数は特に定めない。 E2 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。同じ学期に E2 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、成績の良い方のみを卒業に必要な単位として認定する。
------	---

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、農学部学生便覧を参照してください。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

① 自然科学科目群

科目名	分野名	単位数	科目名 (対応する日本語で開講される科目)	単位数
Calculus with Exercises A	数学	3	微分積分学 (講義・演義) A	3
Calculus with Exercises B	数学	3	微分積分学 (講義・演義) B	3
Linear Algebra with Exercises A	数学	3	線形代数学 (講義・演義) A	3
Linear Algebra with Exercises B	数学	3	線形代数学 (講義・演義) B	3
Fundamentals of Organismal and Population Biology-E2	生物学	2	個体と集団の基礎生物学	2
Fundamental Chemical Experiments-E2	化学	2	基礎化学実験	2
生物学実習 I に対応する英語で開講される科目はなし			生物学実習 I	2
Principles of Genetics-E2	生物学	2	遺伝学概論	2
Introductory Statistics-E2	データ科学	2	統計入門	2

② 情報学科目群

科目名	単位数	科目名 (対応する日本語で開講される科目)	単位数
Basic Informatics-E2	2	情報基礎 [農学部]	2
Practice of Basic Informatics-E2	2	情報基礎演習 [農学部]	2

※英語で開講される推薦科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。同じ学期に英語で開講される推薦科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、成績の良い方のみを卒業に必要な単位として認定する。

4. その他

履修や卒業要件において上記以外に学科の指示がある場合は、その指示に従ってください。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上	統合科学科目群の「統合科学」分野の科目（複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは1科目のみ）を含めることができる。できるだけ多くの分野から修得することが望ましい。
自然科学科目群	20 単位以上	下表①で推薦する科目から計 10 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（平成 28 年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成 29 年度以降入学者は日本語上級から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	8 単位以上	下表②で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。なお、「統合科学」分野の科目は人文・社会科学科目群として扱う。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は、平成 31 年度以降入学者は合計 4 単位以上、平成 28～30 年度入学者は合計 8 単位以上修得すること。 なお、(1) 統合科学科目群の「統合科学」、「環境」以外の分野の E 科目、(2) 2 単位を超えて修得した統合科学科目群の「統合科学」分野の E 科目、(3) 2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、上記の卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認める。それ以外の E 科目は、卒業に必要な単位としても認める。
------	---

2. 履修登録単位数の上限について

(令和 2 年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、農学部学生便覧を参照してください。

(平成 31 年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

① 自然科学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学（講義・演義）A	3	物理学基礎論 A	2
微分積分学（講義・演義）B	3	物理学基礎論 B	2
線形代数学（講義・演義）A	3	無機化学入門 A	2
線形代数学（講義・演義）B	3	無機化学入門 B	2
確率論基礎	2	基礎化学実験	2
統計入門 ※1	2	細胞と分子の基礎生物学 ※2	2
		生物・生命科学入門 ※1	2

※1 平成 28～30 年度入学者については、履修しても学科が推薦する科目とは認められず、学科推薦のない、他の自然科学科目群の科目と同じ扱いとなるので注意すること。

※2 平成31年度以降入学者については、履修しても学科が推薦する科目とは認められず、学科推薦のない、他の自然科学科目群の科目と同じ扱いとなるので注意すること。

※3 上記推薦科目に対応する英語授業のE2科目（「Ⅲ. 2. 全学共通科目一覧」参照）は自然科学科目群及びE科目の卒業単位となるが推薦科目の卒業単位とはならない。

② 情報学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部]	2

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上	統合科学科目群の「統合科学」分野の科目（複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは1科目のみ）を含めることができる。できるだけ多くの分野から修得することが望ましい。なお、外国語科目群日本語科目の修得単位を人文・社会科学科目群の卒業に必要な単位に認めることがある。
自然科学科目群	20 単位以上	下表①で推薦する科目から計 10 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（日本語中級以上から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。ただし、母語の科目は外国語科目に含まれない。なお、英語 8 単位は、日本語科目の読み替えにより満たす場合がある。
情報学科目群	8 単位以上	下表②で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。なお、「統合科学」分野の科目は人文・社会科学科目群として扱う。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	E 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の取り扱いについては下記を参照のこと。

E 科目	E 科目の卒業に必要な単位数は特に定めない。 E2 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。同じ学期に E2 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、成績の良い方のみを卒業に必要な単位として認定する。
------	---

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、農学部学生便覧を参照してください。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

① 自然科学科目群 ※1

科目名	分野名	単位数	科目名（対応する日本語で開講される科目）	単位数
Calculus with Exercises A	数学	3	微分積分学（講義・演義）A	3
Calculus with Exercises B	数学	3	微分積分学（講義・演義）B	3
Linear Algebra with Exercises A	数学	3	線形代数学（講義・演義）A	3

Linear Algebra with Exercises B	数学	3	線形代数学（講義・演義）B	3
Elementary Probability -E2 ※2	数学	2	確率論基礎	2
Introductory Statistics-E2	データ科学	2	統計入門	2
Fundamental Physics A	物理学	2	物理学基礎論 A	2
Fundamental Physics A-E2	物理学	2	同上	2
Fundamental Physics B	物理学	2	物理学基礎論 B	2
Fundamental Physics B-E2	物理学	2	同上	2
Introduction to Inorganic Chemistry A-E2	化学	2	無機化学入門 A	2
Introduction to Inorganic Chemistry B-E2	化学	2	無機化学入門 B	2
Fundamental Chemical Experiments-E2	化学	2	基礎化学実験	2
Introduction to Biology and Life Science-E2	生物学	2	生物・生命科学入門	2

※1 化学分野および生物学分野の E2 科目について、教育上有益と認められる場合は、修得した単位を学部選択科目として認定することがあります。ただし、その場合は、卒業までに必要な全学共通科目の単位とはみなしません。詳細は農学部学部教務掛へ問い合わせてください。

※2 令和 6 年度不開講

② 情報学科目群

科目名	単位数	科目名（対応する日本語で開講される科目）	単位数
Basic Informatics-E2	2	情報基礎 [農学部]	2
Practice of Basic Informatics-E2	2	情報基礎演習 [農学部]	2

※英語で開講される推薦科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。同じ学期に英語で開講される推薦科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、成績の良い方のみを卒業に必要な単位として認定する。

4. その他

履修や卒業要件において上記以外に学科の指示がある場合は、その指示に従ってください。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	12 単位以上	できるだけ多くの分野から修得することが望ましい。
自然科学科目群	16 単位以上	下表①で推薦する科目から計 10 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（平成 28 年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成 29 年度以降入学者は日本語上級から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科科目群	16 単位以上	下表②で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「統合科学」分野の科目は複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは 2 単位のみである。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は、平成 31 年度以降入学者は合計 4 単位以上、平成 28～30 年度入学者は合計 8 単位以上修得すること。 なお、2 単位を超えて後に修得した統合科学科目群の「統合科学」分野の E 科目、および、2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、上記の卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認める。それ以外の E 科目は、卒業に必要な単位としても認める。
------	--

2. 履修登録単位数の上限について

（令和 2 年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、農学部学生便覧を参照してください。

（平成 31 年度以前入学者）

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

① 自然科学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
線形代数学（講義・演義）A	3	確率論基礎	2
線形代数学（講義・演義）B	3	物理学基礎論 A	2
微分積分学（講義・演義）A	3	物理学基礎論 B	2
微分積分学（講義・演義）B	3	物理学実験	2
数理統計	2		

※ 上記推薦科目に対応する英語授業の E2 科目（「Ⅲ. 2. 全学共通科目一覧」参照）は自然科学科目群及び E 科目の卒業単位となるが推薦科目の卒業単位とはならない。

② 情報学科科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2	情報基礎演習 [農学部]	2

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	12 単位以上	できるだけ多くの分野から修得することが望ましい。なお、外国語科目群日本語科目の修得単位を人文・社会科学科目群の卒業に必要な単位数に認めることがある。
自然科学科目群	16 単位以上	下表①で推薦する科目から計 10 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（令和 3 年度入学者は日本語上級、令和 5 年度以降入学者は日本語中級、日本語上級から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。ただし、母語の科目は外国語科目に含まれない。なお、英語 8 単位は、日本語科目の読み替えにより満たす場合がある。
情報学科目群	16 単位以上	下表②で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「統合科学」分野の科目は複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは 2 単位のみである。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	E 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の取り扱いについては下記を参照のこと。

E 科目	E 科目の卒業に必要な単位数は特に定めない。 E2 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。同じ学期に E2 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、成績の良い方のみを卒業に必要な単位として認定する。
------	---

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、農学部学生便覧を参照してください。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

① 自然科学科目群

科目名	分野名	単位数	科目名（対応する日本語で開講される科目）	単位数
Linear Algebra with Exercises A	数学	3	線形代数学（講義・演義）A	3
Linear Algebra with Exercises B	数学	3	線形代数学（講義・演義）B	3
Calculus with Exercises A	数学	3	微分積分学（講義・演義）A	3
Calculus with Exercises B	数学	3	微分積分学（講義・演義）B	3
Mathematical Statistics -E2	データ科学	2	数理統計	2
Elementary Probability -E2 ※	数学	2	確率論基礎	2
Fundamental Physics A	物理学	2	物理学基礎論 A	2
Fundamental Physics A-E2	物理学	2	同上	2
Fundamental Physics B	物理学	2	物理学基礎論 B	2
Fundamental Physics B-E2	物理学	2	同上	2
Elementary Experimental Physics -E2	物理学	2	物理学実験	2

※令和 6 年度不開講

② 情報学科目群

科目名	単位数	科目名 (対応する日本語で開講される科目)	単位数
Basic Informatics-E2	2	情報基礎 [農学部]	2
Practice of Basic Informatics-E2	2	情報基礎演習 [農学部]	2

※英語で開講される推薦科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。同じ学期に英語で開講される推薦科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、成績の良い方のみを卒業に必要な単位として認定する。

4. その他

履修や卒業要件において上記以外に学科の指示がある場合は、その指示に従ってください。

農学部 <食料・環境経済学科>

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	20 単位以上	統合科学科目群の「統合科学」分野の科目（複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは1科目のみ）を含めることができる。令和6年度入学者については、下表①-1で推薦する科目から、令和5年度入学者については、下表①-2で推薦する科目から6単位以上修得すること。令和3年度・令和4年度入学者については、下表①-3で推薦する科目から10単位以上修得すること。平成28年度以降かつ令和2年度以前入学者については、下表①-4で推薦する科目を極力履修すること。
自然科学科目群	12 単位以上	「数学」分野、「データ科学」分野及び「生物学」分野から計12単位以上修得すること。令和3年度以降入学者については、下表②-1で推薦する科目から6単位以上修得すること。平成28年度以降かつ令和2年度以前入学者については、下表②-2で推薦する科目を極力履修すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語8単位（「英語リーディング」計4単位、「英語ライティングーリスニングA・B」各2単位計4単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（平成28年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成29年度以降入学者は日本語上級から修得すること）のうちから1か国語8単位以上、計16単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	12 単位以上	令和3年度以降入学者については下表③-1で推薦する科目を、平成28年度以降かつ令和2年度以前入学者については下表③-2で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。なお、「統合科学」分野の科目は人文・社会科学科目群として扱う。令和3年度以降入学者については下表④-1で推薦する科目を、平成28年度以降かつ令和2年度以前入学者については下表④-2で推薦する科目を極力履修すること。
少人数教育科目群		最初に修得した2単位まで卒業に必要な単位として認める。 令和6年度入学者については、下表⑤で推薦する科目の履修を推奨する。
合計	60 単位以上	卒業に必要な単位として認められないE科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は、平成31年度以降入学者は合計6単位以上、平成28～30年度入学者は合計8単位以上修得すること。 なお、（1）自然科学科目群の「数学」、「データ科学」及び「生物学」以外の分野のE科目、（2）統合科学科目群の「統合科学」、「環境」以外の分野のE科目、（3）2単位を超えて修得した統合科学科目群の「統合科学」のE科目、（4）2単位を超えて後に修得した少人数教育科目群のE科目は、卒業に必要な単位としては認めず、E科目の単位としてのみ認める。それ以外のE科目は、卒業に必要な単位としても認める。
------	--

2. 履修登録単位数の上限について

（令和2年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は30単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、農学部学生便覧を参照してください。

(平成 31 年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

①-1 人文・社会科学科目群 (令和 6 年度入学者)

科目名	単位数	科目名	単位数
社会学 I	2	Contemporary Economics I -E2 ※	2
社会学 II	2	Contemporary Economics II -E2	2
経済学 I	2	Food and Globalization I -E2	2
経済学 II	2	Introduction to Management-E2	2
社会経済システム論 I	2	Contemporary Management-E2	2
社会経済システム論 II	2		
環境と法	2		
統計リテラシー	2		

※令和 6 年度不開講

①-2 人文・社会科学科目群 (令和 5 年度入学者)

科目名	単位数	科目名	単位数
社会学 I	2	Contemporary Economics I -E2 ※	2
社会学 II	2	Contemporary Economics II -E2	2
経済学 I	2	Food and Globalization I -E2	2
経済学 II	2	Food and Globalization II -E2 ※	2
社会経済システム論 I	2	Introduction to Management-E2	2
社会経済システム論 II	2	Contemporary Management-E2	2
環境と法	2		
統計リテラシー	2		

※令和 6 年度不開講

①-3 人文・社会科学科目群 (令和 3 年度・令和 4 年度入学者)

科目名	単位数	科目名	単位数
社会学 I	2	Contemporary Economics I -E2 ※	2
社会学 II	2	Contemporary Economics II -E2	2
社会経済システム論 I	2	Food and Globalization I -E2	2
社会経済システム論 II	2	Food and Globalization II -E2 ※	2
環境と法	2	Introduction to Management-E2	2
統計リテラシー	2	Contemporary Management-E2	2

※令和 6 年度不開講

①-4 人文・社会科学科目群 (平成 28 年度以降かつ令和 2 年度以前入学者)

科目名	単位数	科目名	単位数
社会学 I	2	Contemporary Economics I -E2 ※	2
社会学 II	2	Contemporary Economics II -E2	2
統計リテラシー	2	Food and Globalization I -E2	2
		Food and Globalization II -E2 ※	2

※令和 6 年度不開講

②-1 自然科学科目群（令和3年度以降入学者）

科目名	分野名	単位数	科目名	分野名	単位数
数学基礎 A	数学	4	統計入門	データ科学	2
数学基礎 B	数学	4	データ分析基礎	データ科学	2
確率論基礎	数学	2	数理・データ科学のための数学	データ科学	2
数学探訪 I	数学	2	入門 I		2
数学探訪 II	数学	2	数理・データ科学のための数学	データ科学	2
			入門 II		2

②-2 自然科学科目群（平成28年度以降かつ令和2年度以前入学者）

科目名	分野名	単位数	科目名	分野名	単位数
微分積分学（講義・演義）A	数学	3	確率論基礎	数学	2
微分積分学（講義・演義）B	数学	3	数理統計	データ科学	2
線形代数学（講義・演義）A	数学	3	数学探訪 I ※1	数学	2
線形代数学（講義・演義）B	数学	3	数学探訪 II ※2	数学	2

※1 平成29年度以前に開講されていた「数学探訪 I」または「数学探訪 III」の単位を既修得の場合、平成30年度以降の「数学探訪 I」は履修しても卒業単位とならないので注意すること。

※2 平成29年度以前に開講されていた「数学探訪 II」または「数学探訪 IV」の単位を既修得の場合、平成30年度以降の「数学探訪 II」は履修しても卒業単位とならないので注意すること。

③-1 情報学科目群（令和3年度以降入学者）

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎〔農学部〕	2	イノベーションと情報	2
情報基礎演習〔農学部〕	2	情報企業論	2

③-2 情報学科目群（平成28年度以降かつ令和2年度以前入学者）

科目名	単位数	科目名	単位数
情報基礎〔農学部〕	2	情報基礎演習〔農学部〕	2

④-1 統合科学科目群（令和3年度以降入学者）

科目名	分野名	単位数
統合科学：地球環境と人類とのバランス	統合科学	2
統合科学：持続可能な地球社会をめざして（エネルギー・環境・社会の視点から）	統合科学	2
環境農学論	環境	2

④-2 統合科学科目群（平成28年度以降かつ令和2年度以前入学者）

科目名	分野名	単位数
統合科学：地球環境と人類とのバランス	統合科学	2

⑤ 少人数教育科目群（令和6年度入学者）

科目名	単位数
ILAS Seminar-E2: Food Systems in Asia	2

【Kyoto iUP 生用】

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	20 単位以上	統合科学科目群の「統合科学」分野の科目（複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは1科目のみ）を含めることができる。令和5年度入学者については、下表①で推薦する科目から6単位以上修得すること。なお、外国語科目群日本語科目の修得単位を人文・社会科学科目群の卒業に必要な単位に認めることがある。
------------	---------	---

自然科学科目群	12 単位以上	「数学」分野、「データ科学」分野及び「生物学」分野から計 12 単位以上修得すること。令和 5 年度入学者については、下表②で推薦する科目から 6 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（日本語上級から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。ただし、母語の科目は外国語科目に含まれない。なお、英語 8 単位は、日本語科目の読み替えにより満たす場合がある。
情報学科目群	12 単位以上	令和 5 年度入学者については、下表③で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。なお、「統合科学」分野の科目は人文・社会科学科目群として扱う。令和 5 年度入学者については、下表④で推薦する科目を極力履修すること。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	E 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の取り扱いについては下記を参照のこと。

E 科目	E 科目の卒業に必要な単位数は特に定めない。 E2 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。同じ学期に E2 科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、成績の良い方のみを卒業に必要な単位として認定する。
------	---

2. 履修登録単位数の上限について

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、農学部学生便覧を参照してください。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

① 人文・社会科学科目群（令和 5 年度入学者）

科目名	単位数	科目名（英語で開講される科目）	単位数
経済学Ⅰ	2	Sociology I-E2 *1	2
経済学Ⅱ	2	Contemporary Economics I-E2 ※	2
社会学Ⅰ*1	2	Contemporary Economics II-E2	2
社会学Ⅱ	2	Food and Globalization I-E2	2
社会経済システム論Ⅰ	2	Food and Globalization II-E2 ※	2
社会経済システム論Ⅱ	2	Introduction to Management-E2	2
環境と法	2	Contemporary Management-E2	2
統計リテラシー	2		

*1 は使用言語の異なる同じ科目（相対する科目）

※令和 6 年度不開講

② 自然科学科目群（令和 5 年度入学者）

科目名	分野名	単位数	科目名（対応する英語で開講される科目）	単位数
数学基礎 A	数学	4		
数学基礎 B	数学	4		
確率論基礎	数学	2	Elementary Probability -E2 ※	2
数学探訪Ⅰ	数学	2	Quest for Mathematics I-E2	2

数学探訪Ⅱ	数学	2	Quest for Mathematics II-E2	2
統計入門	データ科学	2	Introductory Statistics-E2	2
データ分析基礎	データ科学	2	Basic Data Analysis-E2	2
数理・データ科学のための数学入門Ⅰ	データ科学	2		
数理・データ科学のための数学入門Ⅱ	データ科学	2		

※令和6年度不開講

③ 情報学科目群（令和5年度入学者）

科目名	単位数	科目名（対応する英語で開講される科目）	単位数
情報基礎〔農学部〕	2	Basic Informatics-E2	2
情報基礎演習〔農学部〕	2	Practice of Basic Informatics-E2	2
イノベーションと情報	2		
情報企業論	2		

④ 統合科学科目群（令和5年度入学者）

科目名	分野名	単位数
統合科学：地球環境と人類とのバランス	統合科学	2
統合科学：持続可能な地球社会をめざして（エネルギー・環境・社会の視点から）	統合科学	2
環境農学論	環境	2

※英語で開講される推薦科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、最初に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定する。同じ学期に英語で開講される推薦科目とそれに対応する日本語で開講される科目の両方を修得した場合、成績の良い方のみを卒業に必要な単位として認定する。

4. その他

履修や卒業要件において上記以外に学科の指示がある場合は、その指示に従ってください。

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	12 単位以上	
自然科学科目群	20 単位以上	下表①で推薦する科目から計 10 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（平成 28 年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成 29 年度以降入学者は日本語上級から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報科学科目群	12 単位以上	下表②で推薦する科目を極力履修すること。
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		下表③で推薦する科目を極力履修し、計 4 単位以上修得すること。なお、「統合科学」分野の科目は複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは 1 科目のみである。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は、平成 31 年度以降入学者は合計 4 単位以上、平成 28～30 年度入学者は合計 8 単位以上修得すること。 なお、統合科学科目群の「統合科学」の E 科目、および 2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、上記の卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認める。それ以外の E 科目は、卒業に必要な単位としても認める。
------	--

2. 履修登録単位数の上限について

（令和 2 年度以降入学者）

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、農学部学生便覧を参照してください。

（平成 31 年度以前入学者）

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

① 自然科学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学（講義・演義）A	3	基礎物理化学要論	2
微分積分学（講義・演義）B	3	基礎有機化学 I	2
線形代数学（講義・演義）A	3	基礎有機化学 II ※1	2
線形代数学（講義・演義）B	3	基礎化学実験	2
物理学基礎論 A	2	個体と集団の基礎生物学	2
物理学基礎論 B	2	細胞と分子の基礎生物学	2
物理学実験	2	水と緑と土の科学 ※2	2

※1 平成 28 年度入学者のみ学科が推薦する科目として認める。

※2 平成 28 年度以降かつ令和 2 年度以前入学者のみ学科が推薦する科目として認める。令和 3 年度以降入学者は学科が推薦する科目として認めない。

※3 上記推薦科目に対応する英語授業のE2科目（Ⅲ. 2. 全学共通科目一覧」参照）は自然科学科目群及びE科目の卒業単位となるが推薦科目の卒業単位とはならない。

② 情報学科目群

科目名	単位数
情報基礎 [農学部]	2

③ 統合科学科目群

科目名	分野名	単位数
環境学	環境	2

1. 卒業までに修得すべき全学共通科目の単位数

人文・社会科学科目群	16 単位以上	統合科学科目群の「統合科学」分野の科目（複数履修しても卒業に必要な単位として認めるのは 1 科目のみ）を含めることができる。できるだけ多くの分野から修得することが望ましい。
自然科学科目群	20 単位以上	令和 5 年度以降入学者については、下表で推薦する科目から計 16 単位以上修得すること。平成 28 年度以降かつ令和 4 年度以前入学者については、下表で推薦する科目から計 10 単位以上修得すること。
外国語科目群	16 単位以上	英語 8 単位（「英語リーディング」計 4 単位、「英語ライティング・リスニング A・B」各 2 単位計 4 単位を修得すること）に加えて、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、イタリア語、スペイン語、朝鮮語、アラビア語、日本語（平成 28 年度入学者は日本語中級、日本語上級から、平成 29 年度以降入学者は日本語上級から修得すること）のうちから 1 か国語 8 単位以上、計 16 単位以上修得すること。なお、日本語は外国人留学生のみ選択することができる。
情報学科目群	8 単位以上	
健康・スポーツ科目群		
キャリア形成科目群		
統合科学科目群		「環境」分野の科目のみ卒業に必要な単位として認める。「統合科学」分野の科目は人文・社会科学科目群として扱う。
少人数教育科目群		最初に修得した 2 単位まで卒業に必要な単位として認める。
合計	60 単位以上	卒業に必要な単位として認められない E 科目（下記を参照）の単位は除く。

E 科目	E 科目は合計 8 単位以上修得すること。 なお、(1)統合科学科目群の「統合科学」、「環境」以外の分野の E 科目、(2)2 単位を超えて修得した統合科学科目群の「統合科学」分野の E 科目、(3)2 単位を超えて後に修得した少人数教育科目群の E 科目は、上記の卒業に必要な単位としては認めず、E 科目の単位としてのみ認める。それ以外の E 科目は、卒業に必要な単位としても認める。
------	--

2. 履修登録単位数の上限について

(令和 2 年度以降入学者)

全学共通科目と学部科目をあわせて、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限は 30 単位です。上限単位数の対象外となる授業科目等詳細については、農学部学生便覧を参照してください。

(平成 31 年度以前入学者)

全学共通科目の履修登録単位数の上限は、1 学期につき 34 単位です。ただし、集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。なお、通年科目については、総単位数の 2 分の 1 が 1 学期あたりの単位数としてカウントされます。

3. 指示事項

学科が推薦する科目

自然科学科目群

科目名	単位数	科目名	単位数
微分積分学（講義・演義）A	3	基礎化学実験	2
微分積分学（講義・演義）B	3	物理学基礎論 A ※2	2
線形代数学（講義・演義）A	3	物理学基礎論 B ※2	2
線形代数学（講義・演義）B	3	基礎物理化学要論 ※1	2
基礎物理化学（熱力学）※1	2	基礎有機化学 I	2
基礎物理化学（量子論）※1	2		

※1 「基礎物理化学（熱力学）」または「基礎物理化学（量子論）」を修得した場合、後に「基礎物理化学要論」

を修得しても卒業単位には認められないので注意すること（増加単位になる）。

「基礎物理化学要論」を修得した場合、後に「基礎物理化学（熱力学）」および「基礎物理化学（量子論）」を修得しても卒業単位には認められないので注意すること（増加単位になる）。

同一開講期に「基礎物理化学（熱力学）」「基礎物理化学（量子論）」「基礎物理化学要論」を修得した場合は、「基礎物理化学（熱力学）」「基礎物理化学（量子論）」が卒業単位として認められる（「基礎物理化学要論」は増加単位になる）。

- ※2 入学試験の一般入試の個別学力検査で物理を選択しなかった者、または特色入試による入学者で大学入学共通テスト（令和2年度以前入学者は、「大学入試センター試験」と読み替える）で物理を選択しなかった者に限り、「初修物理学 A・B」で代えることができる。
- ※3 上記推薦科目に対応する英語授業の E2 科目（「Ⅲ. 2. 全学共通科目一覧」参照）は自然科学科目群及び E 科目の卒業単位となるが推薦科目の卒業単位とはならない。